

# 令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会



## 目 次

1. 概 要	
(1) 事業概要	1
(2) 決算概要	2
2. 法人運営	
(1) 正副会長会議	3
(2) 理事会	3
(3) 評議員会	4
(4) 評議員選任・解任委員会	4
(5) 監査・出納調査	4
3. 地域福祉活動の推進	
(1) 地域福祉活動計画の見直し	5
(2) 地域福祉活動の支援	5
(3) 地域力強化推進モデル事業	8
(4) 生活支援体制整備事業	8
(5) 高齢者いきがい事業	9
(6) 児童の育成支援	10
(7) 福祉教育の推進	16
(8) 障がい者(児)の支援	16
(9) ボランティア事業の推進	16
(10) 福祉団体の育成 事業	18
(11) 赤い羽根共同募金・歳末助けあい運動への協力	19
(12) 地区福祉懇談会の開催	20
4. 生活支援サービスの推進	
(1) 地域福祉コーディネート活動	21
(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業	22
(3) 心配ごと相談	22
(4) 生活福祉資金等の貸付相談事業	23
(5) 日常生活自立支援事業	26
(6) 不利益な取り扱いに関する相談受付	28
5. 在宅福祉サービスの推進	
(1) 介護保険サービス	28
(2) 障がい福祉サービス事業	33
(3) 地域生活支援	34
(4) 地域包括支援センター事業	36
(5) 外出支援	40
(6) 心身障がい児一時介護の支援	41
6. 東日本大震災被災者支援	41
7. 事業継続計画の見直し	41
8. 福祉活動情報の発信	
(1) 社会福祉大会の開催	41
(2) 社会福祉協議会会報「福祉もりおか」の発行	42
(3) インターネットを利用した情報発信	42

9.	総合福祉センターの管理運営	
	(1) 利用実績	42
	(2) 団体利用件数	44
10.	職員の育成	45
11.	組織体制	
	(1) 評議員	46
	(2) 理事・監事	47
	(3) 評議員選任・解任委員	47
	(4) 職員	48

# 1. 概 要

## (1) 事業概要

近年の社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化の急速な進展や人口減少、家族形態の変容、住民間の関係希薄化を背景に、複合的な要因による社会的孤立や生活困窮、子どもの貧困、8050問題など解決困難な事例が多く、既存の社会保障や福祉政策では対応しきれない現状となっています。

このような状況のなか、国は地域共生社会の実現に向け、新たな取り組みとして重層的支援体制整備事業を創設し、地域住民が抱える複雑多様化した課題に分野を超えて包括的な支援体制によって受け止め、解決する仕組みづくりを進めています。

令和2年度は第2期地域福祉活動計画の中間見直しを行い、基本理念である「人と人がつながり共に支え合うまちづくり」に向けて、今後の取り組みを進めることとし、市内8地区で福祉懇談会を開催し、住民相互の繋がりや支え合いの地域づくりに向けて市民の皆様と共に考え、「ふれあい・いきいきサロン」の活動再開に向けた取り組みをおこなったところであります。

ボランティア活動の推進においては、ボランティア保険の加入促進を図るとともに情報提供を行い、養成研修ではボランティア入門講座を開催し、一般市民の多くの方々に参加いただき育成を図ってきたところであります。

近年、国内で自然災害が頻発に発生するなか、災害時対応に向けて事業継続計画（BCP）及び災害時受援計画の見直しを行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大に伴い新たに事業継続計画感染症編を作成し、危機管理に備えたところであります。

次に、地域における深刻な生活課題や孤立等の問題解決に向けて、多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業、地域力強化推進モデル事業により、各福祉分野の事業所に相談支援包括化推進員を委嘱し、分野横断的に支援を行う体制により、あらゆる相談に対する支援体制の構築に取り組んだところであります。

また、地域福祉コーディネーターによる個別支援や地域住民による支え合いの仕組みづくりなど関係機関や民生委員、地域との連携協力により支援活動を行うとともに、高齢者の生活支援体制の構築に向けた取り組みや、低所得者等への生活福祉資金の相談や資金貸付対応を行いながら、県・市の関係行政機関、関係団体と連携し、支援ネットワークの一翼を担ってまいりました。

さらに、地域社会で自立した生活を送れるよう、福祉サービスの情報提供や日常生活自立支援事業の利用促進を図り、認知症高齢者や障がい者等の権利擁護や福祉サービスの利用支援を実施してきたところであります。生活福祉資金貸付事業においては、新型コロナウイルスの影響を受け減収や離職による「新たな貧困層」への特例緊急貸付の対応を行い継続的な支援を実施しております。

介護保険事業については、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じ、高齢者等が可能な限り、住み慣れた地域でその能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、各事業所で利用者本位の介護サービスの提供に努めました。また、上位区分の介護保険制度処遇改善加算を算定し、介護職員の所得の向上を図り、さらに質の高いサービス提供体制を整えたことなどもあり、盛岡駅西口介護サービス事業所及び月が丘介護サービス事業所において黒字の経営となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、職員の安全衛生管理を図るとともに、サービス利用者や職員の感染による事業継続についての対策のため、事業継続計画（BCP）に新型インフルエンザ等感染症編を追加いたしました。

なお、本会事業の実施にあたっては、各事業の効果性等について検討を行い、必要な改善を行うとともに、職員研修については新型コロナウイルス感染症感染拡大抑止の観点から、内部・外部研修を効率的に活用し、社協職員の育成に努めたところであります。

## (2) 決算概要

令和2年度収支決算は、資金収支計算書による収入合計は821,474,745円であり、前年度に比べ136,319,014円(19.9%)の増額となりました。また、支出合計は816,917,746円であり、前年度に比べ129,136,909円(18.8%)の増額となりました。このことから当期資金収支差額は4,556,999円となり、前期末支払資金残高137,784,522円を加えた当期末支払資金残高は142,341,521円となりました。

収支の内訳については、事業活動による収支は、収入は寄附金収入や介護保険収入の増収により前年度に比べ32,058,218円(4.8%)多い702,184,565円となり、支出については、人件費支出や新型コロナウイルス感染症感染防止対策等のため事業費支出が増額となったことから、前年度に比べ12,727,548円(1.9%)多い670,652,546円となりました。今年度は、特に介護サービス事業所の経営努力により介護保険収入が23,656,413円(9.6%)の増収となったことから、事業活動については増収増益となりました。

施設整備等による収支については、当初予定していた備品整備のほか、盛岡市総合福祉センターの外灯の更新や新型コロナウイルス感染症対策の一環として県補助金を活用し介護事業所へ自動検温器を設置したことにより、収入が県補助金1,100,000円であったのに対し、支出は3,135,101円となりました。

その他の活動による収支については、収入は債券取得のため基金積立資産取崩収入が増額となったことから、前年度に比べ105,899,796円(761.6%)多い118,190,180円となり、支出も地方債(大阪府公募公債)を取得したことや寄附金の積み立てを行ったことから、前年度に比べ121,347,160円(457.1%)多い143,130,099円となりました。

また、資産状況については、福祉人材育成基金積立金や総合福祉センター補修準備積立預金へ積み立てを行ったこと等により、基金・積立金で5,908,213円の増額となりましたが、建物等の固定資産の評価額の減少等により、純資産全体としては前年度に比べ10,033,432円少ない776,391,222円となりました。これらのことから、純資産の増減を示す当期活動増減差額は△776,961円となり、次期繰越活動増減差額は前年度に比べ6,630,500円少ない261,933,700円となりました。

全体として、今年度は介護保険事業の増収や新型コロナウイルス感染症の影響による事務費・助成金等支出の減額により、昨年度と比較して経営状況は改善しました。

一方、盛岡市総合福祉センターをはじめとした施設・設備の老朽化による改修費用の増加、生活支援事業など生活課題の解決に向けた事業の規模拡大による諸経費の増加などが見込まれており、今後も引き続き採算性を意識した組織経営と中長期的な視野で事業・経営規模に沿った財源の確保が必要であります。

## 2. 法人運営

### (1) 正副会長会議

	開催年月日	内 容
第1回	令和2年5月26日	第1回理事会に付議する案件について
第2回	8月6日	第2回理事会に付議する案件について
第3回	12月3日	第3回理事会に付議する案件について
第4回	令和3年3月9日	第4回理事会に付議する案件について

### (2) 理事会

	開催年月日	内 容
第1回	令和2年6月2日	報告第1 寄附金について
		報告第2 令和元年度債券運用について
		報告第3 理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第4 令和元年度岩手県共同募金会盛岡市共同募金委員会事業報告及び決算に
		議案第1号 令和元年度事業報告について
		議案第2号 令和元年度収支決算について
		議案第3号 令和2年度第一次補正予算について
		議案第4号 規則の一部改正について
		議案第5号 第59回盛岡市社会福祉大会の開催について
		議案第6号 評議員候補者の推薦について
第2回	8月21日	報告第5 会長及び常務理事の職務執行状況について
		報告第6 寄附金について
		報告第7 理事及び評議員を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第8 生活福祉資金制度による特例貸付の実施状況について
		報告第9 第59回盛岡市社会福祉大会の内容変更について
		報告第10 第2期地域福祉活動計画の中間見直しについて
		議案第9号 副会長の選定について
		議案第10号 令和2年度歳末たすけあい運動配分計画について
第3回	12月11日	報告第11 寄附金について
		報告第12 理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		報告第13 介護保険サービス事業運営状況について
		議案第11号 令和2年度歳末たすけあい運動配分事業の実施について
		議案第12号 令和2年度第二次補正予算について
		議案第13号 評議員選任・解任委員の選任について
		議案第14号 評議員会の招集について
第4回	令和3年 3月17日	報告第14 会長及び常務理事の職務執行状況について
		報告第15 寄附金について
		報告第16 理事を関係団体等委員へ推薦することに係る専決処理について
		議案第15号 役員等賠償責任保険契約について
		議案第16号 諸規程の一部改正について

	開催年月日	内 容
第4回	令和3年 3月17日	議案第17号 令和2年度第三次補正予算について
		議案第18号 第2期地域福祉活動計画中間見直しについて
		議案第19号 令和3年度事業計画について
		議案第20号 令和3年度予算について
		議案第21号 令和3年度債券運用計画について
		議案第22号 評議員会の招集について

### (3) 評議員会

	開催年月日	内 容
第1回	令和2年6月19日	報告第1号 放課後児童健全育成事業所の運営規程の制定について
		報告第2号 諸規程の一部改正について
		報告第3号 令和元年度岩手県共同募金会盛岡市共同募金委員会事業報告及び決算について
		報告第4号 第59回盛岡市社会福祉大会の開催について
		議案第1号 令和元年度事業報告について
		議案第2号 令和元年度収支決算について
		議案第3号 令和2年度第一次補正予算について
		議案第4号 理事の選任について
第2回	12月22日 【決議の省略】	議案第6号 令和2年度第二次補正予算について
第3回	令和3年3月26日	報告第5号 諸規程の一部改正について
		議案第7号 令和2年度第三次補正予算について
		議案第8号 第2期地域福祉活動計画中間見直しについて
		議案第9号 令和3年度事業計画について
		議案第10号 令和3年度予算について

### (4) 評議員選任・解任委員会

	開催年月日	内 容
第1回	令和2年6月9日	評議員の選任について

### (5) 監査・出納調査

実施年月日	区 分		内 容
令和2年5月18日	決算監査 出納調査	監 事	令和元年度事業及び決算について 令和2年1月～3月分
8月18日	出納調査	監 事	令和2年4月～6月分
11月19日	出納調査	監 事	令和2年7月～9月分
令和3年2月17日	出納調査	監 事	令和2年10月～12月分



### 3. 地域福祉活動の推進

#### (1) 地域福祉活動計画の見直し

449千円

中間年となった第2期地域福祉活動計画の前期評価を行うとともに、後期の取り組みに向けて中間見直しを行うため検討委員会を設置し、見直しをおこなった。また、事務局に中間見直し作業チームを置き、計画の見直しの作業をおこなった。

##### 1) 中間見直し検討委員会（委員11名）

- 第1回 令和2年10月5日
- 第2回 令和2年12月7日
- 第3回 令和3年2月24日

##### 2) 中間見直し作業チーム会議（9回開催：令和2年7月20日～令和3年3月2日）

#### (2) 地域福祉活動の支援

##### 1) 地区福祉推進会活動の支援

##### (ア) 地区福祉推進会活動費・事務費の助成

2,680千円

地区福祉推進会が主体的に行う、地域福祉推進のための調査、関係団体・機関との連絡調整、地区住民への福祉啓発活動等に要する活動費及び運営事務費に対して助成した。

[地区推進会助成基準（1推進会当たり）]

区 分	2,000世帯未満	4,000世帯未満	4,000世帯以上
活動費助成	30,000円	40,000円	50,000円
事務費助成	30,000円	40,000円	50,000円
合 計	60,000円	80,000円	100,000円

##### (イ) ふれあいシルバーサロン事業

4,372千円

ひとり暮らし高齢者等が、地域住民とのふれあい活動を通して、健康を保持し生きがいを高められるよう、地区福祉推進会が行う座談会・給食会の開催、地域ボランティアの組織化や高齢者の日常生活支援、伝承遊びやスポーツ交流会等の世代間交流活動について支援した。また、高齢者や地域住民が自らの健康管理や在宅介護に関する技術を習得する機会となる取り組みの促進を図った。

##### ① 開催状況

事 業 名	開催地区	開催回数	参加者数（人）		
			高齢者	その他	合 計
1 ふれあい給食会事業	12	26	759	438	1,197
2 ふれあい座談会事業	13	50	640	439	1,097
3 ボランティア活動事業	25	551	4,089	5,199	9,288
4 世代間交流事業	20	52	1,150	2,198	3,348
5 介護教室事業	26	32	469	456	925
6 医療保健講座事業	25	28	481	389	870
合 計	121	739	7,588	9,117	16,725

※5及び6は盛岡市委託事業

##### ② ボランティア活動事業の主な活動内容

公共施設清掃（公園、歩道等）、草刈り、草取り（公園、公共施設等）、配食サービス、ミニデイサービス、除雪活動

##### ③ 世代間交流事業の主な活動内容

・昔遊び教室（輪投げ、お手玉等）、豆まき、郷土芸能教室、園児との交流

##### (ウ) シルバーメイト事業

3,514千円

住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等対

象に、市内地区福祉推進会等が共助活動の一環として安否確認や声かけなどの見守り活動をおこなった。また、事業の見直しにあたり、現状把握のため、メイトを対象としたアンケート調査を実施し現状把握に努めた。

シルバーメイト事業実施状況（令和3年3月31日時点）

地区福祉推進会名	シルバー（人）	メイト（人）
西 厨 川	19	27
北 厨 川	12	25
本 宮	4	10
築 川	7	21
中 野	77	60
つ な ぎ	6	33
青 山	10	21
仁 王	6	21
米 内	20	20
杜 陵	21	33
城 南	25	38
東 厨 川	120	121
仙 北	27	33
山 岸	23	30
桜 城	48	83
太 田	16	39
緑 が 丘	52	82
上 田	66	82
大 慈 寺	29	11
松 園	15	28
加 賀 野	9	9
見 前	12	12
津 志 田	0	1
乙 部	17	18
飯 岡	21	14
永 井	3	17
み た け	31	47
土 淵	6	41
巻 堀 姫 神	22	15
好 摩	17	26
洪 民	5	1
玉 山 藪 川	39	31
合 計	785	1,050

## 2) 地域支え合いマップ作成・ふれあいサロン支援

高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で、安心・安全に生活できるよう、一人暮らし高齢者等の災害時要援護者を地図上に掲載する「地域支え合いマップ」の作成研修会や防災体験学習について支援をおこなった。

また、新型コロナ感染予防により休止となったふれあいサロンの活動再開に向けて生活支援コーディネーターと連携して「広がれマスクの輪プロジェクト」によるサロン活動の支援をおこなった。

### (7) 地域支え合いマップ作成支援

○マップ作成更新支援（1町内会）

○研修会・防災グッズ作成体験等の開催支援（2町内会・自治会、1団体）

(イ) ふれあいサロン活動支援

○広がれマスクの輪プロジェクト【(4) 生活支援体制整備事業に記載】

3) ふれあいのまちづくり事業（玉山地域）

323 千円

(ア) 福祉相談活動

玉山総合福祉センターにおいて次のとおり専門家による福祉・生活課題に関する相談会の実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。相談件数は、前年度と比較 7%減少した。

区 分	相談員	回 数	相談者
法律相談	弁護士	中止（年3回予定）	0名
相続・登記相談	司法書士	中止（年1回予定）	0名
人権・生活相談	人権擁護委員	中止（月1回（第2水）	0名
一般相談	職員	月曜日～金曜日	39名
相談者数合計			39名
相談件数			34件

(イ) チャイルドシートの貸出し

6歳未満児のいる世帯へチャイルドシート（ベビー、チャイルド、ジュニア）を貸し出した。

種 類	保有台数	貸出台数
ベビーシート	40	5
チャイルドシート	49	11
ジュニアシート	37	5

(ウ) 除雪機の貸出し

ひとり暮らし世帯等の除雪活動を支援するため、玉山地域2自治会（舟田2自治会、馬場状小屋自治会）へ除雪機を貸し出した。

(エ) ふれあいサポートバンク

介護保険サービス以外の支援を行うサービスとして、利用会員と協力会員間による家事支援の利用は0件であった。

- 利用会員登録者 14名
- 協力会員登録者 13名
- 利用提供件数 2件
- 提供時間数 4時間

4) ICTを活用した見守り事業

岩手県社会福祉協議会が岩手県立大学と連携のもとに開発し運用する情報通信技術を活用した「いわて“おげんき”みまもりシステム」に、当協議会が「“おげんき”みまもりセンター」として一人暮らし高齢者等の見守りをおこなった。

みまもりセンターでは、地区福祉推進会、民生児童委員、町内会・自治会等の協力を得ながら地域住民の「みまもり協力者」が30人の一人暮らし高齢者等の安否確認を毎日行うとともに、孤立を防止し安心して毎日の生活を送られるよう支援した。

○実施地区及び登録者数

地区	桜城	上田	松園	西厨川	仙北	見前	本宮	山岸	仁王	青山	河南	城南	緑が丘	合計
人数	3	3	7	1	1	0	5	3	1	2	1	1	2	30

(3) 地域力強化推進モデル事業（盛岡市委託事業）

11,282 千円

自分の住んでいる地域課題や地域づくりを一部の人に任せるのではなく、住民や町内会、自治会などの地縁組織をはじめ、福祉分野に限らず地域や産業等の他分野に対して働きかけや支援をおこなった。

また、地区福祉懇談会で地域住民から出された課題や地域づくりの意見に対して、マンションの多い都市型の杜陵地区と、一戸建て新興住宅開発の進むみたけ地区、山間部がある築川地区の3地区で活動をおこなった。

(7) 杜陵地区

新型コロナウイルス感染拡大により、マンションサミットおよび防災ウォークの開催を見合わせ、これまでの取り組みを評価・検証のため、地区内で洪水被害が及ぶ可能性が高い3町内会（下ノ橋町内会、馬場町、清水町）に住民アンケート調査を実施した。

○アンケート調査内容

- ①防災意識に対する意識調査
- ②町内会の取り組みに対する満足度・重要度の評価

○杜陵コラボ会の開催

マンションサミットで話し合われた内容の実践に向けた協力者によるコラボ会の話し合いを次のとおりおこなった。また、マンションサミットやコラボ会の情報を発信する「コラボ会情報パート1」を発行し、杜陵地区に配布した。

(i) みたけ地区

新型コロナウイルス感染症感染予防により、サマースクール及びウィンタースクール等のボランティア養成講座は中止し、「みたけのまちのボランティア（MMV）」の企画・実施する会議や畑作業の支援をおこなった。

(ii) 築川地区

全世代で地域の子育てを行う場としての子育てサロンの開催及び、休耕田を活用したひきこもり当事者会と誰でも集うことが出来る畑作業を行い、地域の居場所づくりをおこなった。

①子育てサロンの開催

開催日	活動内容	参加者
6月18日	自由遊び・絵本読み聞かせ・おやつ	11名
9月17日	杜陵児童センター保育士による親子遊び、おやつ	11名
11月19日	杜陵児童センター保育士による親子遊び・おやつ	7名
2月18日	ボランティア団体による音楽レク、創作・おやつ	10名

②誰でも集える居場所について

開催日	活動内容	参加者数
6月12日	さつま芋苗付け	当事者1名、社協3名
10月28日	さつま芋の収穫	当事者3名、社協1名
10月12日	地域で育てる蕎麦の収穫	当事者5名、地域住民10名、社協1名

※毎月2回程度の畑作業を実施。

(4) 生活支援体制整備事業(第1層生活支援コーディネーター)

5,655千円

「住み慣れた地域で自分らしい暮らし」を実現する地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の多様な主体による生活支援の仕組みづくりに取り組んだ。助け合い意識の醸成や生活支援の担い手の発掘と社会資源開発、第2層生活支援コーディネーターへの支援をおこなった。

(i) 地域ケア推進会議およびワーキンググループの開催

「高齢者のゴミ出し支援」をテーマとし、見前地区・谷地頭アパートの取り組みを検討し、見前地区は地区福祉推進会が主体となり、住民主体の仕組みづくりを構築し、谷地頭アパートは買い物支援に派生し、定期的な移動販売(買い物支援)の実施となり新たな社会資源が創出された。

また、地域ケア会議の課題として挙げられた「生活支援の担い手の育成と活用」をテーマに取り上げ、市内5町内会をモデル地区に設定し、既存の生活支援の担い手の整理と住民アンケート調査実施に向けて協議をおこなった。

地域ケア推進会議	8月6日、2月17日(書面開催)
地域ケア推進会議ワーキンググループ	10月13日、12月23日

(ii) ふれあいサロン活動再開支援「広がれ!マスクの輪!みんなのマスクプロジェクト」

・マスクニーズ調査の実施

市内209のサロン世話人に調査し、市内49箇所1,164枚のマスクが必要と判明

・マスク材料の募集

寄附件数 38件(企業・団体・市民・介護保険事業所)

・マスクづくり講習会およびマスク仕上げボランティア活動の実施

市内9か所の講習会に参加した市民ボランティアは延べ171名。マスクづくり指導を市民ボランティアに依頼。

・マスク配布

第2層生活支援コーディネーターを通じて24カ所のサロンにマスクを配布。

・クロージングフォーラムの開催

日時 令和2年11月25日(水) 13時30分～15時

場所 盛岡劇場メインホール(メイン会場)

社会福祉法人育心会福祉交流館「暖炉の家」(サテライト会場)

参加者 45名(メイン会場)、9名(サテライト会場)、10名(動画視聴)

内容 事業報告

トークセッション「わたしとマスクプロジェクト」

盛岡青年会議所理事長 宮野 祐樹 氏

マスクづくりボランティア 葛尾 和子 氏

楽々会世話人 伊藤 和子 氏

講演「できることから始めよう!～さらなる助け合い活動へ～」

講師 近所福祉クリエイター 酒井 保 氏(リモート出演)

※本プロジェクトは厚生労働省「感染防止に配慮したつながり支援等の事例集」掲載となった

(4) 第2層生活支援コーディネーター支援

・SCミーティングの開催

開催数 7回(5月18日、6月16日、8月18日、10月20日、12月15日、1月19日、2月16日)

場所 盛岡市総合福祉センター

内容 第2層生活支援コーディネーターによる事例報告(テーマ「協議体の立ち上げ・運営」)と意見交換、情報共有

・SC勉強会の開催

日時 令和2年11月21日(土) 10時～12時

場所 盛岡市総合福祉センター

内容 講話「高齢者の自立支援と生活支援体制事業について～生活支援コーディネーターの役割を再確認する～」

講師 医療経済研究機構 主任研究員 服部 真治 氏

国際長寿センター 室長 中村 一朗 氏

SCとのトークセッション

(5) 高齢者いきがい事業

高齢者の生きがい活動について、関係団体とともに開催した。

1) 老人スポーツ祭典・作品展・芸能大会の支援

22千円

高齢者の生活を生きがいのあるものにするため、老人クラブ連合会および市と共催し、高齢者の創作活動(盛岡市老人作品展)をおこなった。なお、盛岡市スポーツ祭典及び芸能大会については、新型コロナウイルス感染症感染予防により中止した。

(ア) 盛岡市老人スポーツ祭典

新型コロナウイルス感染症感染予防により中止

(イ) 第57回 盛岡市老人作品展

期日 令和2年10月27日～29日

会場 盛岡市総合福祉センター 4F 講堂

参加 個人12名、団体52施設177名、出品数 124点

(ウ) 盛岡市老人芸能大会

新型コロナウイルス感染症感染予防により中止

2) 市民福祉茶会

63千円

盛岡茶道協会との共催による茶会に70歳以上の高齢者を対象として参加費割引券を配付したが、新型コロナウイルス感染症感染予防により開催を中止した。また、児童を対象にした「ふれあい交流福祉茶会」も同様に中止した。

## (6) 児童の育成支援

ひとり親家庭、放課後児童や子ども会の健全育成を関係機関等と連携を図りながら実施するとともに、児童・生徒の福祉教育をおこなった。

### 1) ひとり親家庭の支援

ひとり親家庭を対象に、盛岡市母子寡婦福祉協会、盛岡市子ども青少年課と共催で、親と子のふれあいクリスマス会を開催し、家庭間相互の交流と児童の健全育成を図った。

期 日 令和2年12月12日(土)

会 場 盛岡市総合福祉センター 4階講堂

参加者 37名(内訳) 大人16名、子ども21名

### 2) 児童福祉週間運動・支援

29千円

5月5日から5月11日までを中心とした児童福祉週間に実施している次の事業は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

(7) 第48回歩け歩け運動(共催 子ども会育成会連絡協議会)

(4) 児童福祉講演会(共催 盛岡市民生児童委員連絡協議会・盛岡市子ども会育成会連絡協議会)

### 3) 児童館の管理運営事業(盛岡市指定管理者指定事業)

85,458千円

玉山地域に設置する盛岡市立児童館5館の指定管理者として、放課後及び学校休業日における児童の健全な遊びと幼児の保育を通して児童の健全育成に努めた。前年度に比較し、登録児童数は18%、利用者数は38.4%それぞれ減少した。

#### (7) 運営児童館

児童館名	運営区分	所在地	電話番号
盛岡市立巻堀児童館	幼児・学童混合保育型	盛岡市巻堀字巻堀101-1	019-682-0228
盛岡市立日戸児童館	学童保育型	盛岡市日戸字市の坪25-1	019-685-2433
盛岡市立好摩児童館	学童保育型	盛岡市好摩字野中69-85	019-682-0208
盛岡市立生出児童館	幼児・学童混合保育型	盛岡市下田字仲平66-2	019-683-2088
盛岡市立渋民児童館	学童保育型	盛岡市渋民字鶴塚103	019-683-3020

#### (4) 職員数(単位:人)

職名	巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計
館長	1	1	1	1	1	5
主任児童厚生員	1	1	0	0	0	2
児童厚生員	0	0	0	0	0	0
児童厚生員(嘱託)	1	0	2	2	2	7
児童厚生員(非常勤)	3(3)	3(1)	4(2)	4(0)	5	19(6)
合計	6(3)	5(1)	7(2)	7(0)	8	33(6)

※ ( )内は児童厚生員(非常勤職員)の他館との兼務者数

#### (7) 運営実績

##### ア) 開館時間

区分	月曜日～金曜日	土曜日	学校休業日
幼児型	8:00～18:00	8:00～12:00	—
学童保育型	10:30～19:00	8:00～18:00	8:00～19:00

※ 休館日:日曜日、国民の祝日・休日、年末年始

イ) 登録児童数 (単位: 人)

区 分	巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合 計
幼児 年少	0	-	-	2	-	2
年中	0	-	-	4	-	4
年長	0	-	-	3	-	3
計	0	-	-	9	-	9
学童 1年生	1	1	27	4	23	56
2年生	2	4	17	6	32	61
3年生	4	3	16	6	34	63
4年生	7	5	14	4	25	55
5年生	5	5	6	6	17	39
6年生	3	5	6	3	6	23
計	22	23	86	29	137	297
合 計	22	23	86	38	137	306

ロ) 開館日数・延べ利用者数

区 分	巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合 計	
開館日数 (日)	292	270	293	290	293	1,438	
利用者数 (人)	幼児・ 学童	4,268	4,687	14,718	8,006	27,731	59,410
	一 般	167	109	279	279	269	1,103
	合 計	4,435	4,796	14,997	8,285	28,000	60,513

※ 一般: 未登録幼児・学童、中学生、高校生、父母会、老人クラブ等

エ) 年間活動実績

月	児童の活動	参加者数 (人)						父母の会活動
		巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計	
4	入館を祝う会(入館式) 清掃ボランティア		24	25 42	20	138 中止	207 42	入館式 父母の会役員会
5	こどもの日お祝い会 農園作業 地区運動会(参加) ウォークラリー・ゲーム大会 自然体験 体育教室 子どもの日茶会	中止 3	24  24	62 10  中止 中止	9  中止	中止 中止	86 22 24	父母の会役員会 農園作業 地区運動会 (中止)
6	親子遠足 体験学習(講座・野外活動等)	中止			中止	中止		親子遠足 (中止) 父母の会役員会 児童館運営委員会
7	七夕お楽しみ会 夕涼み会(ゲーム大会) 児童館・夏祭り(交流) 流しそうめん大会 ナイトウォークラリー スポーツ教室 学童交流会	20 15 19  中止	  中止 24 中止	70  60 75 中止	12 74  中止	136 中止 中止 中止	238 89 103 75	父母の会役員会 夕涼み会 夏祭り (中止)  園庭草取り

月	児童の活動	参加者数(人)						父母の会活動
		巻堀	日戸	好摩	生出	渋民	合計	
8	お泊り会 体験学習(自然体験・社会見学等) バザー お話し会 教室(啄木かるた) プール教室(ゆびあす) 施設訪問 お祭り昼食会	中止 中止   中止 13	   中止 中止	67 中止 53 18	中止   中止	   21	67  53 39 13	父母の会役員会 文化祭作品制作 バザー(中止) 施設訪問(中止)
9	世代間交流(行事・運動会・訪問等) 体験学習等 敬老の日プレゼント製作 お月見会	  19	  24 24	  55	12 45 20	中止 139	12 45 182 99	体験学習等
10	体験学習(リンゴ狩・社会学習等) 世代間交流等(収穫祭・グランドゴルフ等) お月見会 施設訪問 お茶会	0 21	中止	66 78	48  中止	中止 中止 中止	48 66 21 78	合同文化祭
11	体験学習 体育教室(親子リトミック教室等) 勤労感謝プレゼントづくり お茶会	 22 13	中止 24	11 41		135	11 41 181 13	父母の会役員会 親子軽スポーツ
12	クリスマス会 生活発表会 施設訪問 お楽しみ会(昼食会) お茶会	21 0 0	24  中止	62  2 52 42	61 61 中止	131  中止	299 61 2 52 42	父母の会役員会
1	新春お楽しみ会 世代間交流会(水木団子他) 体験活動(スケート等) 段ボールハウス製作 そろばん・クッキング・かるた等	16 中止 中止	22 中止 中止	 中止 中止 40 17	 12 中止	136  中止	174 12 40 31	世代間交流会
2	節分・バレンタイン・お楽しみ会 世代間交流(節分等)	63 中止	23	121	39	124	370	父母の会役員会
3	ひな祭り会 お別れ会(修了パーティー) 卒館式 ひなまつりお茶会 ビリヤード教室	19 20	23 23 23	中止  60 14	中止 24	136	42 179 24 83 14	父母の会役員会 父母の会総会 卒館式

※ 毎月：お誕生会、映画会

※ 随時：避難訓練、交通安全教室、一輪車検定、縄跳び検定、クリーン活動、発育測定、花植え等

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止もしくは内容変更をした行事がある。



#### 4) 学童クラブの管理運営事業（放課後児童健全育成事業）（盛岡市委託事業）

都南こどもの家及び学童クラブにおいて、学区内の留守家庭児童の放課後及び学校休業日における保育と健全育成に努めた。前年度に比較し、加入児童数は2.0%減少し、利用者数は6.5%増加した。

##### ○新型コロナウイルス感染症への対応

委託元の盛岡市から新たに委託料の加算措置を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止及び職員の感染対策を図り事業を推進した。

マスクや消毒液等の衛生用品やパーティション等の備品を購入し、換気が悪い密閉空間や密集する場所にならないようにしながら、手洗い手指消毒を徹底して保育をおこなった。

##### (7) 都南こどもの家

8,679 千円

- ア) 所在地 盛岡市津志田 14-20  
 イ) 電話番号 019-637-0602  
 ウ) 職員配置 所長1名(兼務)、所長補佐1名(嘱託)、児童厚生員1名(嘱託)、非常勤補助職員7名  
 エ) 開設時間 月曜日～金曜日 11:00～18:00 土曜日・学校休業日 8:00～18:00  
 ※ 休所した日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、盆期間中の利用希望の無かった8月15日

##### オ) 運営実績

① 年間開設日数 292 日

② 加入児童数 (単位：人)

1年生	2年生	3年生	合計
27	9	12	48

③ 開設日数・施設利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)	25	23	26	25	24	24	27	23	24	23	22	26	292
利用者(人)	548	462	557	572	476	495	545	490	431	439	404	534	5,953

④ 年間活動実績

月	活動方針	実施行事	参加者
4	少しずつ新しい環境に慣れよう	新入生歓迎会【コロナウイルス感染症対策のため中止】 プラ板工作【 " 】	
5	ゆったりとした気持ちで好きな遊びをしよう	新聞紙遊び【コロナウイルス感染症対策のため中止】 父母の会総会【 " 】	
6	決まりを守って楽しく過ごそう	3～10日 なわとび記録会 24日 避難訓練(1年生のみ 地震を想定)	15名 14名
7	班活動に協力し合おう	1～8日 なわとび記録会 27～31日 リフレッシュタイム (リレー・鬼ごっこ・サッカー)	18名 毎日約15名
8	行事に参加して仲間との交流を深めよう	4～5日 着せ替え人形作り 17日 とんとん相撲 18日 貼り絵工作 19日 ぶんぶんごま作り 21日 ステンドグラス風カップ作り 夏の集いの会【コロナウイルス感染症対策のため中止】	8名 3名 5名 10名 14名
9	仲間と一緒に身体を動かして遊ぼう	17日 避難訓練(地震を想定) 23日 プラ板工作	20名 20名
10	みんなで協力してこどもまつりの準備をしよう	2日 都南こどもの家父母の会役員会	保護者9名
11	いろんなことにチャレンジして楽しいことを発見しよう	7日 こどもまつり	27名 保護者 8名

月	活動方針	実施行事	参加者
12	行事を通して参加する意味を知ろう	15日 クリスマスミニツリー工作 25日 クリスマスレクリエーション 28日 避難訓練(火事を想定)・大掃除	17名 8名 19名
1	お正月遊びを楽しもう	5日 プラバン工作 カルタ大会【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】	15名
2	寒さに負けず思いっきり遊んでみよう	2日 節分会 9～26日 なわとび記録会	25名 10名
3	自分で考えて行動してみよう	19日 新入生へのプレゼント作り 22日 避難訓練(地震を想定) 26日 お別れ会	8名 21名 28名

(イ) 外山学童クラブ

5,370千円

- ア) 所在地 盛岡市藪川字外山93-1 (外山公民館内)  
 イ) 電話番号 019-669-1806  
 ウ) 職員配置 所長(兼務)1人、児童厚生員(嘱託)2人、児童厚生員(非常勤)4人  
 エ) 開設時間 月曜日～金曜日 10:30～19:00 土曜日 8:00～18:00 学校休業日 8:00～19:00  
 ※ 休所日: 日曜日、国民の祝日・休日、年末年始

カ) 運営実績

① 年間開設日数 255日

② 加入児童数 (単位:人)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
0	0	1	0	0	0	1

③ 開設日数・施設利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数(日)	21	19	23	22	18	21	23	20	23	22	19	24	255
利用者(人)	16	17	21	16	8	20	20	19	18	14	17	15	201

④ 年間活動実績

月	児童の活動	人数	父母の会活動	月	児童の活動	人数	父母の会活動
4	進級を祝う会	1		10	ハロウィンおやつ作り	1	
5	清掃活動	1		11	収穫感謝祭(クッキング)	2	収穫祭(クッキング)
6	自然体験教室	中止	役員会	12	クリスマスケーキ作り	1	
7	ガーデニング教室	1		1	お正月遊び	1	
	七夕会	1			書き初め会	1	
	学童交流会	中止			みずき団子作り	1	
8	夕涼み会(世代間交流)	中止	夕涼み会(中止)	2	豆まき会	1	
	工作教室	1			バレンタインおやつ作り	1	
					雪上ゲーム大会	1	
9	お月見会	1		3	ひなまつり会	1	役員会・総会
	体験教室	中止			修了を祝う会	1	
	清掃活動	1					

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した行事あり

## (7) 福祉教育の推進

166 千円

### (ア) 福祉作文・福祉標語コンクール

小・中学校の児童生徒が高齢者や障がい者への「優しさ・思いやり・助け合い」の心を養い、福祉への理解と関心を高めることを目的に、福祉作文と福祉標語のコンクールを開催した。各部門の最優秀作品を盛岡市社会福祉大会で表彰をおこなった。

〔最優秀者表彰者〕 福祉作文 小学校（低学年・中学年・高学年）、中学校 各1名  
福祉標語 小学校（低学年・中学年・高学年）、中学校 各1名

### (イ) キャップ・ハンディ体験

小・中・高等学校、企業や市民を対象に福祉教育の一環として行う、キャップ・ハンディ体験学習（アイマスク体験、車いす体験、高齢者の疑似体験）や福祉に関する講話にボランティアや職員を派遣し、高齢者や障がい者への理解を深めた。なお、参加人数は2,204人で、前年度と比較し21%増加した。

#### ア) 派遣実績

①小学校 22校 34回 1884人

（土淵、津志田、城南、厨川、中野、手代森、東松園、上田、大新、北松園、向中野、松園、永井、桜城、月が丘、太田東、都南東、見前南、巻堀、好摩、生出、渋民）

②中学校 2校 320人（上田、北陵）

イ) 用具貸出し件数 2件（盛岡市役所、見前小学校）

### (ウ) 福祉教育に関するアンケート調査

5 千円

新型コロナウイルス感染症予防により市内小中学校教職員を対象とした研修会を中止し、市内小学校に福祉教育に関するアンケート調査を実施した。アンケート結果から、社協が実施する福祉教育に求められていることや、先生方が感じる課題を抽出し、福祉教育のメニューの見直しをおこなった。

（アンケート調査概要）

- ・調査対象：小学校44校の4年生の総合の学習を担当している教職員の方
- ・内 容：総合の学習の時間における福祉教育について
- ・回 答 率：97%（43校）

### (エ) 赤い羽根共同募金出前講座

市内小中学校および専門学校、福祉団体等を対象に職員を派遣し、共同募金の使途や歴史に関する講座等のプログラムについて、中学校1校の依頼を受けて対応した。

派遣先	学校数	人数	摘 要
中学校	1校	18人	松園中学校ボランティア委員会

## (8) 障がい者（児）の支援

障がい者（児）がスポーツ、遊びなどを通して社会参加やボランティア等との交流が促進されるよう開催している障害者スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった。

## (9) ボランティア事業の推進

市民のボランティア活動への参加を促進するため、ボランティアの養成、登録・斡旋、ネットワークづくりへの支援を行うとともに、ボランティア保険の加入やボランティア団体の活動に対して助成をおこなった。

前年度と比較し、ボランティア登録者数は5%、ボランティア活動保険加入者数は38%減少した。

### 1) ボランティアの養成研修

104 千円

#### ① 高校生ボランティアスクールの開催

新型コロナウイルス感染症感染予防により中止

#### ② ボランティア入門講座の開催

ア) 日 時 令和3年2月13日

イ) 会 場 盛岡市総合福祉センター

ウ) 参加者 12名

エ) 内容 ボランティア基礎講話、居場所作りボランティアの講話、ボランティア活動の紹介等

## 2) ボランティアの登録・マッチング

(ア) ボランティアの登録 10,912名 (209個人、128グループ10,703名)

(イ) ボランティアの斡旋・派遣

ア) 社協行事協力 23名

イ) 福祉施設行事協力 0名

ウ) 在宅支援活動 15名

エ) 福祉施設等活動 0名

オ) 震災復興支援 0名

カ) その他の活動 0名

## 3) ボランティア・市民活動ネットワークの推進

473千円

(ア) 盛岡市ボランティア連絡協議会への活動助成

(イ) 「ぼられんネットかわらばん」(A4版)の発行

(ウ) ボランティアポスターセッションの開催

開催場所：クロステラス盛岡

開催期間：令和2年11月9日(月)～11月15日(土)

参加団体：13団体

※以下の事業は新型コロナウイルス感染症予防により中止とした。

- ・盛岡市ボランティアまつり「ふれあい広場」
- ・ボランティア研修会
- ・ボランティアの交流・情報交換
- ・東日本大震災スタディツアー

## 4) ボランティア保険の加入助成

1,031千円

(ア) ボランティア活動保険 539件(加入者8,437名)

保険種別	加入者数	備考
基本	7,777名	うち6,871名助成。
天災	660名	

(イ) ボランティア行事保険 323件(加入者8,792名)

(ウ) 福祉サービス補償 23件

(エ) 送迎サービス補償 4件

## 5) 活動機材の貸出し

ボランティア活動への支援のため、活動団体に対してフライテント(1件)を貸し出した。

## 6) 福祉除雪

ひとり暮らし高齢者や障がい者等、除雪が困難な世帯等からの要請を受けて、福祉除雪協力団体や個人ボランティアが日常生活に支障がある範囲の雪かき活動を行う。今年度の活動実績は14回であった。また、除雪に関する相談などに随時対応し、情報提供等をおこなった。

登録状況 協力団体9団体、個人ボランティア4名

相談件数 50件

(内訳) 事業説明	17件
有償業者紹介	19件
ボランティア団体対応	2件
個人ボランティア対応	4件
社協職員対応	8件

## (10) 福祉団体の育成事業

5,068 千円

全市的範囲で活動する専門別に組織された福祉関係団体（9 団体）に対して運営経費の一部を助成することにより、当該団体の育成と活動支援に努めた。

### 1) 盛岡市民生児童委員連絡協議会

民生児童委員活動を通じた在宅福祉援助活動、調査、研修等、関係機関との連絡協調のための諸活動への支援

#### (ア) 主な事業

- ア) 地区会長定例会議（民生児童委員活動について）の開催
- イ) 学習会、交流会、研修会の開催
- ウ) 調査活動（高齢者世帯調査、在宅介護者調査など）の実施

### 2) 盛岡市子ども会育成会連絡協議会

市内子ども会育成活動への指導や児童福祉の向上のために行う諸活動への支援

#### (ア) 主な事業

- ア) 盛岡市子ども会活動交流会の開催
- イ) 清掃奉仕活動の実施
- ウ) 盛岡市子ども会育成者研修会の開催
- エ) 盛岡市子ども会議の開催
- オ) 盛岡市子ども会育成会活動交流研修会の開催

### 3) 盛岡市母子寡婦福祉協会

母子家庭の相談、母子・父子とのレクリエーション、研修会等への支援

#### (ア) 主な事業

- ア) 「親と子の集い クリスマス会」の開催
- イ) 講習会の開催

### 4) 盛岡市保育所協議会

園児の保育に関する調査・研究、職員研修、関係機関との連絡協調への支援

#### (ア) 主な事業

- ア) 職員研修の実施
- イ) 教養講座、永年勤続伝達式の開催
- ウ) 広報紙の発行

### 5) 盛岡市身体障害者協議会

身体障がい者の福祉向上のために行う諸活動への支援

#### (ア) 主な事業

- ア) 研修会の開催
- イ) 敬老会等の親睦交流
- ウ) 会員とボランティアによるレクリエーション（スポーツ等）の実施

### 6) 盛岡市保健推進員協議会

市民の健康増進活動及び子育て支援活動等健康づくりに関する研修等開催事業

#### (ア) 主な事業

- ア) 健康相談・健康教室開催支援など保健事業の推進
- イ) 献血事業の推進協力
- ウ) 研修会等実施

### 7) 盛岡市老人クラブ連合会

市内老人クラブの指導と高齢者福祉向上のために行う諸活動への支援

#### (ア) 主な事業

- ア) 清掃奉仕活動
- イ) 高齢者相互の友愛（集い）活動、子どもの見守り活動への取り組み
- ウ) クラブ会員学習会、研修会、交流懇談会の開催
- エ) 高齢者パソコン同好会への支援

8) 盛岡市手をつなぐ育成会

知的障がい者・児が「地域で共にくらす」ための福祉サービスの充実のために行う諸活動への支援

(ア) 主な事業

- ア) 新成人への贈答品送付事業、研修会、茶話会の開催
- イ) 相談支援事業実施等
- ウ) チェアヨガ体験会、絵を楽しもうの会の開催

9) 盛岡市学童保育連絡協議会

市内の学童クラブ指導員の連携、保育・指導内容の研究、研修等への支援

(ア) 主な事業

- ア) 各学童クラブへの備品整備支援の実施
- イ) 指導員部会研修会の開催

(11) 赤い羽根共同募金・歳末助けあい運動への協力

赤い羽根共同募金・歳末助けあい運動に協力し、次のとおり災害見舞金及び激励金等の給付や地域福祉コーディネート活動事業では支援生活必需品の支給等をおこなった。

1) 小規模災害被災者見舞金

住居の火災による被災のあった世帯に対し、次のとおり見舞金を給付した。

災害名	世帯数	金額
住居火災	19	210,000円

2) 歳末助けあい募金運動寄付金の給付

歳末助けあい運動への寄付金を生活困難世帯に給付及び福祉施設等に交付した。

(ア) 在宅生活困難世帯

給付先	件数	金額
重度心身障がい児者世帯	75	825,000円
寝たきり高齢者介護世帯	8	88,000円
認知症高齢者介護世帯	6	66,000円
ひとり暮らし高齢者世帯	119	833,000円
高齢者夫婦世帯	9	63,000円
母子世帯	398	2,786,000円
父子世帯	20	140,000円
母子・父子世帯への図書カード配布	418	1,016,000円
生活困難世帯	200	1,400,000円
災害被災世帯	7	49,000円
合計	1,260	7,266,000円

(イ) 福祉施設・団体

団体数	金額
12	570,000円

3) 生活困窮世帯支援生活用品等支給事業

地域福祉コーディネート活動における生活困窮世帯に対し、カセットコンロ等の生活用品を給付のほか、住居清掃等に要す消毒液や洗剤やゴミ袋等を購入して支給した。

## (12) 地区福祉懇談会の開催

30千円

第2期地域福祉活動計画を推進するため、8地区を会場に懇談会を開催し、地域課題の解決に向けた活動について意見交換をおこなった。青山地区、乙部地区、巻堀姫神地区においては地区福祉推進会や地域包括支援センター、介護支援センター等とともに実践活動へ向けた話し合いの場を持つなどの活動をおこなった。

また、これまでに開催した地区福祉懇談会の中で、提案された意見やアイデアをもとに、地域住民や関係者と協力・連携を図りながら8地区で活動をおこなった。

なお、仁王地区、津志田地区、渋民地区の3地区は新型コロナ感染拡大予防により中止し、次年度に延期することとした。

### 1) 福祉懇談会

地区	期日	場所	参加者	テーマ
加賀野	9月26日	加賀野老人福祉センター	20名	新しい生活様式の中での地域活動について
西厨川	10月8日	西厨川老人福祉センター	19名	ウィズコロナの中での地域活動
巻堀姫神	10月14日	巻堀地区コミュニティセンター	16名	買い物の支え合いについて
本宮	10月19日	本宮地区活動センター	36名	新しい生活様式の中での地域活動について ①地域活動 ②見守り
青山	10月26日	青山地区活動センター	19名	除雪について町内会で取り組むためのアイデアを考えよう
北厨川	11月5日	北厨川老人福祉センター	16名	北厨川の自治会活動を伸ばすために ①地域の良いところ ②地域課題
乙部	11月11日	乙部老人福祉センター	22名	誰もが楽しめる居場所づくりについて ①子ども ②高齢者 ③世代間交流
松園	2月5日	松園地区活動センター	14名	新しい生活様式の中での地域福祉活動

### 2) 活動内容

地区名	内容
上田地区	高松団地自治会での空き家を活用した居場所づくり。盛岡市、地域包括支援センター、子ども会、保護者、岩手大学の学生等と連携しながら活動をおこない、自治会単独での夏祭り行事の開催や大学生による児童への夏休み学習支援等の活動を実施。
築川地区	「地域力強化推進事業」のモデル地区として、子育てサロンの立ち上げ支援・遊休地を活用したひきこもり支援活動の場の提供・移動支援に関するアンケート調査等を実施。
仁王地区	地域の社会資源であるお寺や地区活動センターを活用し、夏休みと冬休みの年2回「寺子屋宿題しよう会」「りんご寺子屋宿題しよう会」を開催。現在は、推進協議会の事業として、仁王・高松小学校の児童を対象に、高校生・地域住民・保護者ボランティアによる学習支援と世代間交流の場として定着。
杜陵地区	「地域力強化推進事業」のモデル地区として、マンション住民等との交流を目的とした「マンションサミット」や「杜陵コラボ会」の開催を通し、住民が地域課題を我が事として捉える地域づくりを実施。
みたけ地区	「地域力強化推進事業」のモデル地区として、地域のボランティアによる取り組みである「みたけの地区のボランティア(MMV)」が発足し、地区内で児童を対象とした学習支援等の活動を実施。
山岸地区	「地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業」のモデル地区として、地域住民による遊休地を活用した、生きがい事業として「シニアを楽しく生きるための活動」を実施。次年度は、住民主体による地域内活動サークルとして活動を継続。

地区名	内 容
加賀野地区	「地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業」のモデル地区として、タクシーを活用した高齢者の移動支援について調査研究を実施。
乙部地区	「地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業」のモデル地区として、平成31年2月～令和2年3月27日までの約1年間、住民ボランティアによる「おでかメカバス」の試験運行を実施。次年度以降は、これまでの研究成果等を地域おこし協力隊に継承し、地域内における住民主体の運行を継続。

#### 4. 生活支援サービスの推進

##### (1) 地域福祉コーディネート活動

100千円

生活困窮や引きこもり、ゴミ屋敷、不登校などの個別課題や地域課題解決に向けて相談対応を行い、関係機関等と連携して取り組みを進めた。新規相談件数は851件で、月平均71件であった。

また、盛岡市、フードバンク岩手と協働実施の「こども応援プロジェクト」などを通じて生活困窮のひとり親世帯へのアウトリーチを基本とした相談対応を行い、各種制度へ繋ぐとともに行政への支援要請や関係相談機関、民生委員等と連携しながら課題解決への取り組みを進めた。

##### ○相談者・相談件数

区分	件数
新規相談者数	851
新規相談世帯数	493
対象者の性別	
(内訳) 男	414
女	437
新規相談者の年代	
(内訳) 0～19歳	163
20～29歳	64
30～39歳	123
40～49歳	145
50～59歳	96
60～64歳	57
65歳以上	203
相談方法(世帯数)	493
(内訳) 電話	295
来所	168
出先・口頭	27
手紙	0
電子メール	3

区分	新規件数	延べ件数
相談対象数	851	5,188
(内訳) 高齢者	193	1,402
身体障がい者	13	115
精神 //	44	899
知的 //	8	143
児童	146	880
一般	447	1,749
相談内容件数	1,065	7,651
(内訳) 認知症	19	82
DV・虐待	25	233
病気	111	1321
仕事	172	982
生活困窮	274	1022
金銭関係	176	1265
成年後見	8	55
保証人	2	5
地域課題	6	40
ひきこもり・不登校	17	384
住まい	27	240
ゴミ屋敷	24	422
自殺	0	15
災害	0	0
近隣トラブル	17	321
社会的孤立	17	448
ひとり親	31	239
障がい疑い	18	246
8050世帯	4	19
ダブルケア	1	24
問い合わせ	36	0
その他	80	288

##### (2) 多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業(盛岡市委託事業)

19,647千円

盛岡市の第2期盛岡市地域福祉計画における地域トータルケアシステムの構築を実現するため、制度を活用しながら、福祉・保健・医療の分野横断的なネットワークと相談支援体制の構築、また盛岡市社会福祉協議会の第2期地域福祉活動計画における解決しにくい課題への対応を地域福祉コーディネーターが担い、個別支援を中心にアプローチをおこなった。



相談支援活動の中では、複数の課題を抱える家族が生活のしづらさを感じながらも、SOSを発信できない、発信しても受け止められない、相談窓口まで辿りつけないなどの現状があり、複合的な課題を抱える家族を「我が事」と捉え、受け止める地域と丸ごと受け止める機能を構築するため、専任の包括化推進員を1名配置し、複合的な課題に対する支援をおこなった。

また、中間就労の場として **Book and Bookenergy in Moriokae** を本格的に開始し、延べ107名が参加して社会参加のきっかけづくりをおこなった。

(7) 事業内容

相談支援包括化推進会議（4回）	7月、10月、12月、2月
相談支援包括化推進会議 個別ケース会議（2回）	1月、3月
困りごとまるごと無料相談会（2回）	12月、1月
Book and Bookenergy in Moriokae	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市総合福祉センター会場(17回 96名) 毎月第1、3水曜日 10時～15時</li> <li>・となんカナンサテライト(5回 11名) 毎月第2水曜日 13時～15時</li> </ul>

(4) 分科会の実施

分科会	回	内容・今後の展開
ひきこもり支援分科会	2回	ひきこもりの支援フローの確認や情報共有をおこなった。ひきこもりの相談窓口であるまるごとよりそいネットワークもりおかの周知を今後実施するとともに、アウトリーチ等を通じた継続支援フローの作成を行うこととする。
おひとりさま分科会	2回	盛岡市にある「おひとりさま」の課題や地域資源の課題を整理し、保証について法的な根拠のもと分類・整理。今後は、地域資源リストづくりや勉強会などを開催予定。
重層的支援体制整備事業分科会	3回	盛岡市における重層的支援体制整備事業の実施に向けた取り組み内容について話し合いを実施した。

(7) 実施事業

- ①相談者等に対する支援の実施（相談支援包括化推進員：専任1名、兼任18名）
- ②相談支援包括化ネットワークの構築
- ③相談支援包括化推進会議の開催（4回）
- ④個別ケース会議の開催（5回）
- ⑤分科会の開催
- ⑥困りごとまるごと相談会の開催（4回）
- ⑦Book and Bookenergy in Morioka（中間的就労事業）
- ⑧相談支援包括化推進員の派遣
- ⑨ケース仕分け（4回）
- ⑩研修会への参加（2回）

(3) 心配ごと相談

市民が抱えているさまざまな問題について、心配ごと相談所相談員が広く相談に応じ、その問題解決のための助言をおこなった。主に、中央相談室（盛岡市総合福祉センター）では精神保健、家族、高齢者福祉等に関する相談、都南相談室（市役所都南総合支所）では人権・法律に関する相談に応じた。

相談件数は、前年度と比較し、住宅に関する相談が50%増加、年齢別では20～29歳の相談が54.5%増加したが、全体としては14.8%減少した。

(7) 中央相談室 年間開催日数 241日 開設日及び時間 月曜日～金曜日 10時～16時

(4) 都南相談室 年間開催日数 9日 開設日及び時間 毎月第3金曜日 10時～16時

7) 事項別相談件数

相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神保健	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保	教育・青少年	心身障がい者(児)福祉	母子・父子福祉	高齢者福祉	苦情	その他	
中央相談室	13	0	7	15	89	0	1	11	2	232	6	7	0	0	0	12	0	31	4	75	505
都南相談室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
合計	13	0	7	15	89	0	1	11	2	232	25	7	0	0	0	12	0	31	4	75	524

※ 相談事項の19「苦情」は、近所のトラブルについて等。

※ 相談事項の20「その他」は、話しを聞いて欲しい。寂しい。お墓や仏事について等。

8) 事項別相談援助活動件数

事項別	中央相談室	都南相談室	合計	事項別	中央相談室	都南相談室	合計
A. 解決終了	479	17	496	E. 社協による援助実施			
B. 相談継続(相談のみの状態で継続する場合)	2	1	3	E-1 相談員・専門援助員	0	0	0
				E-2 福祉活動専門員(又は類似の業務を行う者)	0	0	0
				E-3 ボランティア活動	3	0	3
				E-4 その他	0	0	0
C. 他相談機関への引継ぎ(相談そのものの中心窓口を他に移す場合)	0	0	0	F. 他機関・組織への紹介			
D. 地区社協への引継ぎ				F-1 民生児童委員	0	0	0
				F-2 福祉事務所又は市町村担当課	1	0	1
				F-3 保健所	0	0	0
				F-4 福祉施設	2	0	2
				F-5 当事者組織	0	0	0
				F-6 その他の行政機関	7	1	8
				F-7 その他の民間組織	10	0	10
合計	505	19	524				

9) 年齢別相談件数(中央相談室)

区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
実相談件数(人)	0	17	130	32	90	68	123	18	478
割合(%)	0%	3.6%	27.2%	6.7%	18.8%	14.2%	25.7%	3.8%	100%

(4) 生活福祉資金等の貸付相談事業

低所得者等を対象とする生活資金(生活福祉資金、助け合い資金)の貸付相談に対応するため、相談員5名を配置し、関係機関と緊密なネットワークを図り、生活の不安定状態の改善に向けた相談等について対応した。

1) 生活福祉資金の貸付相談(岩手県社会福祉協議会委託事業)

21,495千円

他の貸付制度が利用できない低所得世帯、障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、民生委員の協力のもと

とに、各種の生活福祉資金の貸付相談に当たった。

貸付（不動産担保型生活資金を除く。）実績は、新型コロナウイルスの影響により困窮状態になっている世帯に対し緊急小口資金特例貸付と総合支援資金特例貸付の申請に対応したことにより、前年度と比較し貸付件数で782.2%、貸付金額で570.5%増加した。

(ア) 総合支援資金 ※生活支援費には特例貸付を含む

失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援(就労支援、家計指導等)と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯の方々に貸付を行った。

資金種類	件数	金額	件数比率	金額比率
生活支援費	744件	470,229,000円	99.9%	100%
一時生活再建費	1件	48,000円	0.1%	0%
住宅入居費	0件	0円	0%	0%
合計	745件	470,277,000円	100.0%	100%

<生活支援費内訳>

○通常貸付 7件 / 1,849,000円

○コロナ特例 737件 / 468,380,000円

計 744件 / 470,229,000円

(イ) 福祉資金 福祉費

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対して、技能習得、転居、住宅改修、医療費等の貸付を行った。

資金種類	件数	金額
福祉資金	32件	25,360,000円

(ウ) 福祉資金 緊急小口資金 ※特例貸付を含む

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となった方々に貸付を行った。

資金種類	件数	金額
緊急小口資金	1,469件	262,658,000円

<緊急小口資金内訳>

○通常貸付 43件 / 3,918,000円

○コロナ特例 1,426件 / 258,740,000円

計 1,469件 / 262,658,000円

(エ) 教育支援資金

高等学校、大学、高等専門学校への入学に際し必要な経費「教育支援費」と「就学支度費」の貸付を行った。

資金種類	件数	貸付金額	件数比率	金額比率
教育支援費・就学支度費(併用)	116件	84,984,000円	85.3%	84.8%
教育支援費	15件	13,984,570円	11.0%	13.9%
就学支度費	5件	1,288,000円	3.7%	1.3%
合計	136件	100,256,570円	100.0%	100.0%

(オ) 不動産担保型 生活資金

高齢者世帯を対象に、現在居住している不動産(土地)を担保に生活資金の貸付を行った。

ア) 令和2年度中の貸付決定件数・金額

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
不動産担保型 生活資金	0件	0円	0円

1) 令和2年度末貸付状況(累計)

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
不動産担保型 生活資金	5 件	100,000～250,000 円	6,986,000～17,290,000 円

(カ) 要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金

要保護の高齢者世帯を対象に、現在居住している不動産(土地・建物)を担保に生活資金の貸付を行った。

ア) 令和元年度中の貸付決定件数・金額

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金	0 件	0 円	4,445,000 円

イ) 令和元年度末貸付状況(累計)

資金種類	件数	貸付月額	貸付限度額
要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金	19 件	28,116～226,020 円	3,668,000～14,070,000 円

(キ) 生活復興支援資金

東日本大震災により被災し、失業や休業等により、日常生活全般に困難を抱えている世帯に対する資金であり、令和2年度の実績はなかった。

(ク) 関係機関との連携

ア) 盛岡市くらしの相談支援室(自立相談支援機関)との連携により家計改善や就労に係る支援と結び付けることで借受世帯の自立に向けた継続的な支援を行った。

イ) フードバンク岩手との連携により、資金が提供されるまでの期間、食糧支援を行った。

ウ) 消費者信用生活協同組合主催の「くらしとお金の安心合同相談会」に参加し生活福祉資金の利用が必要な世帯の相談対応を行った。(年4回：7月、9月、12月、3月 会場：消費者信用生活協同組合)

(ケ) 広報活動

福祉もりおか No.200(令和2年5月15日発行)に総合支援資金、コロナ特例貸付、No.201(令和2年9月15日発行)に教育支援資金のお知らせを掲載して周知を図った。

2) 助け合い資金の貸付相談

5,239 千円

低所得世帯や要保護世帯等に対して、一時的に必要な生活費等の資金として小口貸付(8万円以内)を実施した。

貸付実績は、前年度に比較し件数は2.2%、貸付金額で8.8%減少した。

(ア) 貸付額別件数

貸付金額	1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～6万円未満	6万円～7万円未満	7万円～8万円未満	8万円	合計
件数(件)	1	11	41	54	20	3	2	1	2	135
比率	0.8%	8.1%	30.4%	40.0%	14.8%	2.2%	1.5%	0.7%	1.5%	100%

(イ) 月別件数・金額

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	15	13	5	4	14	9	13	12	10	19	9	12	135
金額(円)	430,000	355,000	176,000	108,000	430,000	255,000	401,000	331,000	325,000	571,000	285,000	340,000	4,007,000
比率	10.7%	8.8%	4.4%	2.7%	10.7%	6.4%	10.0%	8.3%	8.1%	14.3%	7.1%	8.5%	100%

## (ウ) 年度別貸付推移

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
件数 (件)	143	126	125	115	147	117	138	138	135
金額 (円)	4,497,000	3,531,000	4,003,000	3,782,000	4,794,000	3,943,000	4,750,000	4,392,000	4,007,000

## (5) 日常生活自立支援事業 (岩手県社会福祉協議会委託事業)

23,771 千円

## 1) 事業内容

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助やそれに伴う利用料の支払いを含む日常的な金銭管理等の支援をおこなった。

また、成年後見制度へ円滑な移行を推進するためのコーディネートや関係機関とネットワークの構築を行いました。

## 2) 実施体制 (基幹社協)

専門員5名(うち1名が成年後見コーディネーター兼務)、生活支援員18名(うち、盛岡市内を担当する生活支援員数は13名)を配置した。

## 3) 援助内容

- (ア) 福祉サービスの利用手続きや情報提供と助言
- (イ) 福祉サービスの利用料の支払いや日常的な金銭管理サービス
- (ウ) 苦情解決制度の利用等援助
- (エ) 書類等の預かりサービス

## 4) 利用料

1時間当たり 1,300円 (生活保護世帯を除く一般世帯)

## 5) 新規契約状況

(ア) 新規契約者数 31名

(イ) 解約者数 34名

## ア) 性別・世帯状況

区分	男性	女性	合計	一般世帯	生保世帯	合計
新規契約利用者数 (人)	13	18	31	13	18	31

## イ) 種別状況

( ) 内は盛岡市

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
男性 (人)	7(7)	0(0)	6(6)	0(0)	13(13)
女性 (人)	6(6)	5(5)	7(7)	0(0)	18(18)
合計	13(13)	5(5)	13(13)	0(0)	31(31)

## ウ) 支援先の状況

区分	件数	区分	件数
自宅	12	一般病院	0
デイケア	0	精神病院	1
グループホーム	3	デイサービス	1
社協	0	障がい福祉サービス事業所	0
老人福祉施設	1	作業所	5
有料老人ホーム、老人保健施設	8	合計	31

エ) 契約者の申込相談経路

区 分	件 数	区 分	件 数
本人	1	障がい者地域生活支援センター	2
配偶者	0	定着支援センター	2
指定居宅介護支援事業所 (CM)	13	行政機関	2
地域包括支援センター	2	医療機関	3
金融機関	0	社会福祉協議会	0
後見人	0	NPO 法人	0
相談支援事業所(相談支援専門員)	6	合 計	31

6) 利用状況

(ア) 実利用者累計 190 名

・延べ契約者数817名(盛岡市、矢巾町、紫波町 676名 滝沢市、八幡平市移管者数 141名)

・延べ解約者数627名(盛岡市、矢巾町、紫波町 486名、滝沢市、八幡平市移管者数 141名)

ア) 性別・世帯状況

区 分	男性	女性	合 計	一般世帯	生保世帯	合 計
2年度末実利用者数(人)	97	93	190	83	107	190

イ) 障がい別状況

( ) 内は盛岡市

区 分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
男 性 (人)	30(23)	13(10)	52(50)	2(2)	97( 85)
女 性 (人)	30(27)	22(19)	38(34)	3(3)	93( 83)
合 計	60(50)	35(29)	90(84)	5(5)	190(168)

ウ) 市町別実利用者状況

市町名	新規契約 実利用者数 (人)	現在実利用 者数 (人)	事業開始以来の延べ 契約締結者数 (人)
盛 岡 市	31	168	585
紫 波 町	0	16	56
矢 巾 町	0	6	38
合 計	31	190	676

エ) 支援内容 (払出し方法)

区 分	代行	代理	同行	合 計
一般世帯 (人)	38	45	0	83
生保世帯 (人)	59	48	0	107
合 計	97	93	0	190

オ) 毎月の支援回数

区 分	月1回	月2回	月3回	月4回	隔月	合 計
一般世帯 (人)	53	26	0	4	0	83
生保世帯 (人)	59	33	0	15	0	107
合 計	112	59	0	19	0	190

7) 成年後見地域ネットワーク等支援事業

(ア) 成年後見制度の普及啓発

(イ) 地域ネットワークの設置推進

(ウ) 日常生活自立支援事業から成年後見制度への円滑な移行の促進

ア) 相談件数

区分	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	合計
件数	60	0	42	3	105

イ) 本事業からの移行者

区分	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
後見(人)	2	0	1	0	3
保佐(人)	1	0	0	0	1
補助(人)	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	4

(6) 不利益な取り扱いに関する相談受付（岩手県社会福祉協議会委託事業）

「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例」に基づき、障がいのある方に対する不利益な取扱いに関する相談は1件であった。

5. 在宅福祉サービスの推進

(1) 介護保険サービス

○ 新型コロナウイルス感染症への対応

岩手県が実施する「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」の三種類の交付金を活用し、盛岡駅西口及び月が丘介護サービス事業所が感染防止対策を講じ、事業を推進した。

①感染症対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業への交付金

消毒液やマスク等衛生用品や非接触型体温計等の感染症対策に要する物品購入費用に充当

- ・盛岡駅西口事業所 1,722,000 円
- ・月が丘事業所 1,722,000 円

②在宅サービス事業所における環境整備への助成交付金

「3つの密」（「換気が悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」及び「間近で会話や発声をする密接場面」）避けてサービス提供を行うために必要な環境整備に要する物品の購入費用に充当

- ・盛岡駅西口事業所 792,000 円
- ・月が丘事業所 558,000 円

③介護サービス事業所・施設等に勤務する職員に対する慰労金の交付金

介護施設・事業所での集団感染の発生状況を踏まえ、相当程度心身に負担がかかる中、強い使命感を持って、業務に従事していることに対する慰労金給付（一人当たり5万円×104人）

- ・盛岡駅西口事業所 2,750,000 円
- ・月が丘事業所 2,450,000 円

また、安定した経営を行うため事業種別ごとに経営会議を開催し、事業所職員と事務局職員が運営の方針を確認するとともに、コロナ禍においてサービスを持続するための課題を抽出しその対応について協議した。

<経営会議>

開催日	事業所	事業所出席	事務局出席
7月22日	盛岡駅西口ヘルパーステーション、月が丘ヘルパーステーション	5名	8名
	盛岡駅西口老人デイサービスセンター、月が丘老人デイサービスセンター	4名	
7月30日	盛岡駅西口指定居宅介護支援事業所、月が丘指定居宅介護支援事業所	4名	
	盛岡駅西口地域包括支援センター、みたけ・北厨川月が丘地域包括支援センター	4名	

なお、本年度から介護職員の従事経験年数に応じて昇給する仕組みの確立を要件とした処遇改善加算Ⅰを算定し、加算手当の支給による賃金の向上を図り、さらに質の高いサービスの提供体制を整えた。

1) 指定居宅介護支援事業

44,520千円

盛岡駅西口指定居宅介護支援事業所及び月が丘指定居宅介護支援事業所は特定事業所加算（Ⅱ）の算定要件をそれぞれ満たし、介護支援専門員（ケアマネジャー）が要介護者等からの相談に応じるとともに、医療機関や介護サービス事業所などと連絡・調整を行いながら心身の状況等に適した介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、適切かつ良質なケアマネジメントの提供に努めた。両事業所を合わせた介護サービス計画の作成件数は、前年度と比較して8.8%増加した。

(ア) 盛岡駅西口指定居宅介護支援事業所

- ア) 所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号
- イ) 電話番号 019-653-3012
- ウ) 職員配置 所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、主任介護支援専門員2名、介護支援専門員2名
- エ) 営業日及び時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

カ) 事業実績

① 稼働営業日数 243日

② 介護度別利用契約者

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性(人)	12	10	7	6	2	37
女性(人)	37	44	21	10	4	116
合計	49	54	28	16	6	153

③ 世帯分類別利用契約者

区分	契約者数
一般世帯	65
高齢者世帯	36
独居世帯	52

④ 介護サービス計画(ケアプラン)作成件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
介護サービス計画作成件数(件)	159	160	166	164	167	166	168	171	163	159	152	156	1,951	
要介護状態(件)	要介護1	52	55	59	54	55	55	56	58	52	50	47	49	642
	要介護2	61	62	60	60	58	57	57	58	57	54	55	54	693
	要介護3	28	25	26	27	30	28	29	32	27	29	28	30	339
	要介護4	10	9	12	14	16	18	16	15	19	19	15	17	180
	要介護5	8	9	9	9	8	8	10	8	8	7	7	6	97
営業日数(日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243	

⑤ 要介護認定調査依頼件数

(内訳：盛岡市53件、一関市3件、山田町3件、奥州市3件、花巻市1件、横須賀市1件、岩泉町1件、北秋田市1件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護認定調査件数(件)	3	1	0	0	4	8	8	15	7	6	3	11	66

⑥ 介護予防サービス計画作成及び介護予防ケアマネジメント受託件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数(件)	30	27	33	33	33	33	31	32	30	32	33	33	380
委託元	駅西口	22	19	22	21	21	21	19	18	17	19	17	235
	みたけ・北厨川	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	青山	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	22
	仁王・上田	6	6	6	6	6	6	6	7	6	6	7	76
	イーハトーブ	0	0	3	3	3	3	3	4	4	4	4	35

※ 委託元 「駅西口」：盛岡駅西口地域包括支援センター 「みたけ・北厨川」：みたけ・北厨川地域包括支援センター  
 「青山」：青山和敬荘地域包括支援センター 「仁王・上田」：仁王・上田地域包括支援センター  
 「イーハトーブ」：イーハトーブ地域包括支援センター



(イ) 月が丘指定居宅介護支援事業所

- ア) 所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号  
 イ) 電話番号 019-601-7399  
 ウ) 職員配置 所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、介護支援専門員4名  
 エ) 営業日及び時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分  
 オ) 事業実績

① 稼働営業日数 243日

② 介護度利用契約者

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性(人)	16	19	7	6	1	49
女性(人)	48	44	21	7	4	124
合計	64	63	28	13	5	173

③ 世帯分類別利用契約者

区分	人数
一般世帯	72
高齢者世帯	29
独居世帯	72

④ 介護サービス計画(ケアプラン)作成件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
介護サービス計画 作成件数(件)	140	143	142	143	160	153	158	154	152	155	154	160	1,814	
要 介 護 状 態 (件)	要介護1	63	62	66	64	73	67	66	62	61	62	60	57	763
	要介護2	40	42	39	38	45	48	48	49	50	48	50	59	556
	要介護3	22	24	23	22	26	23	27	28	26	28	27	26	302
	要介護4	8	9	8	10	9	9	10	10	10	12	12	13	120
	要介護5	7	6	6	9	7	6	7	5	5	5	5	5	73
営業日数(日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243	

⑤ 要介護認定調査依頼件数(内訳:盛岡市53件、一関市2件、遠野市1件、鹿角市3件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護認定調査依頼件数(件)	5	0	0	0	8	5	1	7	14	6	7	6	59

⑥ 介護予防サービス計画作成及び介護予防ケアマネジメント受託件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数(件)	22	22	24	26	24	26	27	29	29	28	27	28	312
委 託 元	駅西口	1	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	26
	みたけ・北厨川	4	3	4	6	6	6	6	7	7	6	5	66
	青山	15	15	15	15	13	15	15	16	16	17	17	186
	仁王・上田	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
	イーハトーブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

※ 委託元 「駅西口」:盛岡駅西口地域包括支援センター 「みたけ・北厨川」:みたけ・北厨川地域包括支援センター  
 「青山」:青山和敬荘地域包括支援センター 「仁王・上田」:仁王・上田地域包括支援センター  
 「イーハトーブ」:イーハトーブ地域包括支援センター

2) 訪問介護・訪問型サービス (第1号訪問事業)

84,678千円

要介護者の状況を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他生活全般にわたる援助をおこなった。また、介護予防・日常生活支援総合事業として要支援者等には訪問型サービス(第1号訪問事業)を併せて実施し、要介護状態となることを予防し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる支援を行い、生活機能の維持及び向上を目指した。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、前年度に比較して6.4%増加した。

(ア) 盛岡駅西口ヘルパーステーション

- ア) 所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号
- イ) 職員配置 所長1名、総括主任ヘルパー1名、主任1名、副主任3名、訪問介護員18名
- ウ) 営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分
- エ) 営業時間外対応 電話等により24時間常時連絡可能
- オ) 主なサービス 身体介護、家事援助、日常生活上の支援(要支援者等への介護予防サービス)
- カ) 訪問介護・訪問型サービス(第1号訪問事業)事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人員(人)	172	174	179	177	174	180	181	176	179	164	164	163	
利用延べ人員(人)	1,502	1,455	1,586	1,572	1,470	1,518	1,551	1,454	1,449	1,396	1,361	1,509	17,823

(イ) 月が丘ヘルパーステーション

- ア) 所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号
- イ) 職員配置 所長1名、主任1名、副主任2名、訪問介護員15名
- ウ) 営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分
- エ) 営業時間外対応 電話等により24時間常時連絡可能
- オ) 主なサービス 身体介護、家事援助、日常生活上の支援(要支援者等への介護予防サービス)
- カ) 訪問介護・訪問型サービス(第1号訪問事業)事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人員(人)	116	111	111	115	113	109	107	107	105	104	98	96	
利用延べ人員(人)	824	820	884	901	842	910	915	810	816	727	684	731	9,864

(ウ) 保険外自費サービス

訪問介護事業の利用者が自立した日常生活を継続的に営むための支援として、介護保険法による事業の対象とならないサービス(病院内介助、雪かき、片づけ等)を実施した。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、前年度に比較して222.4%増加した。

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
盛岡 駅 西 口	利用実人員(人)	2	2	3	3	3	4	2	1	4	1	3	2	
	利用延べ人員(人)	5	7	7	8	7	10	2	1	7	9	5	4	72
月 が 丘	利用実人員(人)	4	3	4	6	7	6	2	7	6	6	5	7	
	利用延べ人員(人)	4	4	4	7	14	22	16	16	13	14	11	19	144

3) 通所介護・通所型サービス (第1号通所事業)

97,784千円

盛岡駅西口老人デイサービスセンターは、桜城地域及び東厨川地域・西厨川の一部を主なエリアとし、また、月が丘老人デイサービスセンターは、青山地域及びみたけ北厨川地域における在宅福祉活動の拠点として、在宅の要介護高齢者に対して通所による介護サービスを提供し、心身機能の維持向上、自立生活の助長を図りながら、その家族の身体的、精神的な負担軽減を図った。

また、介護予防・日常生活支援総合事業として通所型サービス（第1号通所事業）を併せて実施し、要介護状態や寝たきりにならないよう、また生活機能の維持向上のための介護予防サービスの提供をおこなった。

なお、虚弱高齢者の閉じこもりの予防と生きがいの活動支援を目的とした盛岡市の受託事業「盛岡市生きがい活動支援通所事業」については実績がなかった。養護老人ホーム清和荘（社会福祉法人小原慶福会）より受託している特定施設入所者生活介護の通所介護事業には延べ13人に対してサービスを実施した。

両事業所を合わせた利用延べ人員は、前年度に比較して1.4%減少した。

(7) 盛岡駅西口老人デイサービスセンター

- ア) 所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号
- イ) 職員配置 所長1名(生活相談員兼務)、生活相談員1名、看護職員1名、介護職員10名、運転手4名
- ウ) 営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分(サービス提供9時30分～15時50分)
- エ) 主なサービス 健康チェック、入浴サービス、給食サービス、送迎サービス、生活指導助言、日常生活動作訓練、家族介護者教室等
- オ) 通所介護・通所型サービス(第1号通所事業)事業実績

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
営業日数 (日)		26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308
利用実人員 (人)		52	51	54	52	50	49	50	50	47	45	43	44	
利用延べ人員(人)		417	436	465	474	446	443	464	437	397	371	367	441	5,158
実 績	通所	417	436	465	474	446	443	464	437	397	371	367	441	5,158
	入浴	361	376	398	416	411	394	381	367	337	322	317	379	4,459
	給食	417	436	465	474	446	443	464	437	397	371	367	441	5,158
介 護 状 態 別 延 べ 人 員 ( 人 )	事業対象者	0	0	0	0	0	0	2	5	4	4	4	5	24
	要支援1	56	51	54	51	53	46	48	40	35	40	44	48	566
	要支援2	23	38	40	44	36	38	42	38	44	46	44	53	486
	要介護1	116	119	135	132	125	113	87	77	70	69	53	67	1,163
	要介護2	126	129	125	129	119	143	182	177	162	135	150	168	1,745
	要介護3	54	58	70	70	75	67	60	60	48	47	39	54	702
	要介護4	34	32	32	40	28	28	34	31	26	25	25	37	372
	要介護5	8	9	9	8	10	8	9	9	9	8	5	8	9

(注) 特定施設入所者生活介護通所介護事業(清和荘委託事業)を含む

カ) 特定施設入所者生活介護通所介護事業(清和荘委託事業) 【再掲】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用実人員 (人)	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	
利用延べ人員(人)	0	0	0	0	0	4	6	3	0	0	0	0	13

キ) 生きがい活動支援通所事業 実績なし

(イ) 月が丘老人デイサービスセンター

- ア) 所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号
- イ) 職員配置 所長1名(生活相談員兼務)、生活相談員1名、看護職員1名、介護職員12名、運転手3名
- ウ) 営業日及び時間 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分(サービス提供9時30分～15時50分)
- エ) 主なサービス 健康チェック、入浴サービス、給食サービス、送迎サービス、生活指導助言、日常生活動作訓練、家族介護者教室等

わ) 通所介護・通所型サービス（第1号通所事業）事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
営業日数（日）	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308	
利用実人員（人）	72	81	79	82	77	80	82	84	80	80	81	81		
利用延べ人員(人)	562	626	656	657	600	612	686	621	582	590	581	659	7,432	
実績	通所	562	626	656	657	600	612	686	621	582	590	581	659	7,432
	入浴	495	551	570	577	542	531	584	546	509	520	511	595	6,531
	給食	557	616	656	653	597	611	684	621	582	589	581	659	7,406
介護状態別延人員(人)	事業対象者	7	7	8	10	8	9	9	7	5	7	8	8	93
	要支援1	43	28	31	32	34	33	35	34	36	36	31	40	413
	要支援2	48	63	75	76	60	66	75	64	65	76	70	79	817
	要介護1	238	270	283	302	275	282	318	291	239	239	226	227	3,190
	要介護2	160	188	205	198	184	171	193	183	188	183	175	220	2,248
	要介護3	43	48	39	26	28	42	46	32	41	39	58	67	509
	要介護4	15	12	15	13	11	9	10	10	8	10	10	9	132
	要介護5	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	30

か) 生きがいの活動支援通所事業 実績なし

4) 利用者負担軽減実施（地域における公益的な取組）

低所得のうち特に生活が困窮している介護保険サービス利用者への社会的支援のため、法人として盛岡市が行う利用者負担額軽減制度を実施した。制度の周知及び申請手続きの援助を行い、対象となる利用者に対して介護費負担の25%を軽減した。前年度に比較して、対象延べ人員数は57.8%、軽減負担額は87%それぞれ増加した。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
通所介護	対象延べ人員(人)	3	3	4	4	3	4	4	4	4	3	4	3	43
	軽減実施額(円)	2,641	2,795	4,461	4,145	4,279	4,112	4,514	4,140	3,945	3,381	4,250	4,085	46,748
訪問介護	対象延べ人員(人)	0	0	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	17
	軽減実施額(円)	0	0	765	765	765	3,828	3,714	3,368	3,445	2,908	3,099	3,828	26,485

(2) 障がい福祉サービス事業

1) 居宅介護（ホームヘルプ）

1,839千円

障害者総合支援法の障がい者自立支援給付である「居宅介護（ホームヘルプ）」の提供事業所として、障がい者が居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ、食事等の介護サービスや調理、洗濯、掃除等の家事サービスを提供するとともに、生活等に関する相談、助言その他の生活全般にわたる援助をおこなった。両事業所を合わせた利用延べ人員は、前年度に比較して6.5%増加した。

(ア) 盛岡駅西口指定居宅介護事業所（盛岡駅西口ヘルパーステーション併設）

(イ) 月が丘指定居宅介護事業所（月が丘ヘルパーステーション併設）

事業実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
盛岡駅西口	利用実人員(人)	5	4	4	4	5	5	4	4	7	5	7	8	
	利用延べ人員(人)	54	51	52	55	55	60	48	50	53	38	55	81	652
月が丘	利用実人員(人)	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	
	利用延べ人員(人)	80	83	78	73	63	76	89	89	87	76	78	82	954

### (3) 地域生活支援

#### 1) 日常生活用具の貸与事業

89千円

在宅で生活する寝たきり高齢者、身体障がい者、歩行困難者で介護保険サービスを利用できない方に対して、無料で車いす、特殊寝台等の貸し出しをおこなった。延べ貸与件数は、前年度に比較して28.9%減少した。

##### (ア) 貸与状況

(保有台数：令和3年3月31日現在)

種 類	保有台数	延べ貸与件数	主な申請事由
特殊寝台	30	14	自宅療養、一時帰宅等
マット(エアマット含む)	33	14	自宅療養、一時帰宅等
車いす	98	133	自宅療養、通院、外出、一時帰宅、研修等
電動車いす	4	0	
歩行器	1	4	自宅療養等
合 計	166	165	

#### 2) 寝たきり高齢者等紙おむつ支給 (盛岡市委託事業)

13,548千円

市民税非課税の在宅の寝たきり高齢者等の世帯に対して紙おむつを支給することにより、介護者の負担軽減及び当該高齢者の福祉増進を図った。

延べ対象者数は、前年度に比較して8.8%増加した。

##### 実施状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
対象者数(人)	593	596	599	616	636	643	657	652	657	659	646	633	7,587
支給枚数(枚)	31,175	32,715	33,590	33,410	35,205	35,900	35,735	36,445	35,310	34,555	33,685	32,960	410,685
内 訳 内	尿取りパッド	17,460	18,435	19,130	18,585	20,225	20,935	19,855	20,795	19,240	18,705	17,735	229,185
	フラット型	1,815	2,550	2,700	2,565	2,430	2,385	2,850	3,030	2,940	2,640	2,820	31,380
	テープ止めM	2,460	2,600	2,560	2,640	2,540	2,660	2,820	2,660	2,840	2,720	2,500	31,460
	テープ止めL	780	820	740	660	800	780	920	880	1,000	940	760	9,960
	はくタイプM	4,560	4,290	4,180	4,480	4,820	4,780	4,880	4,700	5,050	5,150	4,940	56,690
	はくタイプL	4,100	4,020	4,280	4,480	4,390	4,360	4,410	4,380	4,240	4,400	4,580	52,010

#### 3) 高齢者世話付住宅援助員の派遣事業 (盛岡市委託事業)

1,827千円

ひとり暮らし高齢者等の生活特性に配慮した住宅(高齢者世話付住宅)に生活援助員(ライフサポートアドバイザー)を派遣し、高齢者が自立して安全に快適な生活を営むことができるよう生活の指導、相談等を行うとともに、24時間体制で緊急時や安否の確認などの援助サービスを提供した。

(ア) 生活援助員派遣施設 盛岡市宮月が丘アパート(盛岡市月が丘三丁目8番) 27世帯

1号館(5世帯)、2号館(7世帯)、3号館(8世帯)、4号館(7世帯)

(イ) 支援内容 緊急時の対応、安否の確認、生活の指導及び相談、関係機関等の連絡

(ウ) 事業内容

内 容	生活指導 相談	安否確認	緊急時 対応	間違い 押し	関係機関 との連絡	原因不明 発報	その他	合 計
延べ件数	22	1303	10	7	6	16	6	1370
上記件数のうち 夜間・休日対応件数	0	0	8	5	0	12	0	25

4) いきいき高齢者通所支援事業（玉山）（盛岡市委託事業）

1,246千円

比較的元気で家に閉じこもりがちな高齢者に対して、サテライト型通所の方法で、高齢者の生きがいづくり、社会的孤立感の解消等により身体機能の維持向上に努めてきた。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、4～6月事業休止。7月13日から各地区2週間に1回午前中再開。開催場所については感染リスクを考慮し、藪川、外山地区を除き、玉山総合福祉センターで実施した。延べ利用者数は、休止期間があったことから前年度に比較して66.1%減少した。

実施状況

（登録者：令和3年3月31日現在）

曜日	場所	登録者数(人)	年間延べ利用者数(人)
第1・第3月曜日（舟田地区）	玉山総合福祉センター	15	147
第2・第4月曜日（姫神地区）	玉山総合福祉センター	7	68
第1・第3火曜日（玉山地区）	玉山総合福祉センター	12	116
第2・第4火曜日（生出地区）	玉山総合福祉センター	6	44
第2・第4水曜日（城内地区）	玉山総合福祉センター	8	86
第2・第4木曜日（渋民地区）	玉山総合福祉センター	12	123
第1・第3金曜日（巻堀・芋田地区）	玉山総合福祉センター	7	91
第1・第3水曜日（藪川地区）	岩洞活性化センター	11	148
第1・第3木曜日（外山地区）	岩洞活性化センター	12	95
合 計		90	918

※ 利用料：1回当たり100円の負担（おやつ代に充当）

5) 家族介護者のリフレッシュ事業（盛岡市委託事業）

528千円

家庭で寝たきりの高齢者、身体に重度の障がいがある要介護者の介護に当たっている介護者（家族）を対象に、在宅福祉サービスや介護技術の知識を高めるとともに、日頃の悩みや体験について情報交換をするなど、介護者の心身のリフレッシュに努めた。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、第2回においては、例年宿泊交流会としていたが、日帰り交流会として実施した。

第1回 期 日 令和2年10月21日

開催場所 盛岡市総合福祉センター 1階 レクリエーション室（盛岡市若園町2-2）

参加者数 4名

内 容 ・介護に関する講話

演題：在宅介護を続けていくために

講師：みたけ・北厨川地域包括支援センター 所長 阿部寿恵 氏

・家族介護に関するDVDの視聴

・質疑等の実施

第2回 期 日 令和3年1月28日 ※日帰り交流会の実施

開催場所 盛岡グランドホテル（盛岡市愛宕下1-10）

参加者数 14名

内 容 ・楽しく脳活！コグニサイズ（認知症予防体操）

講師：（公財）岩手県予防医学協会 健康運動指導士 高橋 力 氏

・参加者同士の交流会

(4) 地域包括支援センター事業（盛岡市委託事業）

68,869千円

盛岡市から盛岡駅西口地域包括支援センター及びみたけ・北厨川地域包括支援センター事業を受託し、介護予防から介護保険の介護サービスのみならず、地域の保健・福祉・医療サービスなど高齢者の状況の変化に応じた支援を提供する総合的な相談支援の拠点として高齢者とその家族の福祉向上を図った。

また、盛岡市が行う介護予防・日常生活支援総合事業の対象者へ介護予防ケアマネジメントを併せて実施した。事業の内容は

次のとおり。

(7) 総合相談支援事業

できるかぎり地域の中で自立した日常生活が継続できるよう、高齢者やその家族などからの様々な相談に応じ、その支援対応に当たった。

(4) 介護予防支援事業

要支援1・2と判定された高齢者等に対して、要介護状態へ移行することを防止するための介護予防サービス計画の作成をおこなった。

(9) 介護予防ケアマネジメント実施

高齢者の介護予防と自立支援の視点を踏まえ、心身の状況、その置かれている環境等の状況に応じて、本人の意欲や能力を引き出せるように専門的視点から支援した。

また、基本チェックリストによる事業対象者に対しては、介護予防サービス計画の作成をおこなった。

(8) 権利擁護事業

高齢者が地域で安心して生活できるよう、成年後見制度の紹介や虐待の早期発見、消費者被害等に関する相談に対応した。

(4) 包括的・継続的支援事業

介護に携わるケアマネジャーや医療・関係機関との連携を図り、地域資源のネットワークづくりに取り組んだ。

(8) 生活支援体制整備事業（第2層）

社会資源リストの作成、関係機関とのネットワークづくりおよび地域への事業周知を行い、具体的な生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に取り組んだ。併せて、認知症地域推進業務として、認知症高齢者やその家族からの相談対応をおこなった。

また、第2層生活支援コーディネーターの活動により、各圏域において地域住民や関係団体が参画し、次のとおり協議体（活動団体）を立ち上げ、地域の課題解決や交流の場として取り組みを進めている。

○盛岡駅西口地域包括支援センター（桜城・西厨川地区）

圏域（担当地区）	協議体	主な活動内容
桜城地区	スクラムさくらぎ	世代間交流（学生と交流）他
西厨川地区	にしくり広場A	朝市での介護予防体操 他
	にしくり広場B	オレンジリングカフェ（地域住民どなたでも参加できるカフェ）

○みたけ・北厨川地域包括支援センター（みたけ・北厨川地区）

圏域（担当地区）	協議体	主な活動内容
みたけ地区	みたけの広場	住民支え合い活動の仕組みづくり (住民同士のボランティア活動による支え合い)

※北厨川地区においては、協議体として立ち上がっていないが、住民同士の企画により市営住宅の余剰地を活用して買い物支援活動等を実施している。

1) 盛岡駅西口地域包括支援センター

盛岡駅西口地域包括支援センターは、河北I地区（桜城・西厨川地区）を担当圏域に総合的な相談支援等をおこなった。前年度に比較して、実相談者数はおおむね昨年並みなものの、問い合わせ件数は11.6%増加し、介護予防サービス計画作成及びケアマネジメント実施件数は4.0%増加した。

(7) 所在地 盛岡市盛岡駅西通一丁目2番2号

(4) 電話番号 019-606-3361

(9) 職員配置 所長1名、管理者(主任介護支援専門員)1名、保健師2名、社会福祉士1名、介護予防支援員1名  
第2層生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員1名

(8) 担当圏域 桜城・西厨川地区

(4) 相談方法 電話、来所、希望により自宅を訪問し相談に対応

(8) 営業日時 月曜日から土曜日 平日：午前9時から午後7時 土曜日：午前9時から正午

※休館日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始 営業時間外対応：電話により24時間常時連絡可能

(8) 利用料 無料

(7) 事業実績

ア) 実相談者数 545名 (うち訪問実数 225名)

イ) 相談方法別件数

電話	訪問	来所	文書	その他	合計
1,521	510	219	2	36	2,288

ウ) 相談者(経路)別件数

家族	本人	関係機関	民生委員	介護支援 専門員	介護サービス 事業所	行政関係	近隣 知人等	合計
624	681	386	147	300	24	67	59	2,288

エ) 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	489	苦情に関すること	7
医療に関する相談	73	年金・保険に関する相談	4
介護保険に関する相談	653	財産(土地・住宅等)に関する相談	31
高齢者福祉サービスに関する相談	71	虐待・権利擁護に関する相談	51
健康づくりと保健事業に関する相談	1	成年後見制度に関する相談	48
施設入所に関する相談	144	消費者被害に関する相談	7
福祉用具に関する相談	46	困難事例に関する相談	666
住宅改修に関する相談	20	その他の相談	231
諸制度に関する相談	11		
状況把握(実態把握)	324	合計	2,877

オ) 月別相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	82	78	120	165	102	127	96	98	145	162	143	203	1,521
訪問	23	44	49	44	33	30	39	46	63	36	42	61	510
来所	18	18	29	28	16	24	20	16	12	8	14	16	219
文書	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
その他	2	0	3	0	0	1	5	1	6	1	5	12	36
合計	125	140	201	238	151	182	160	161	226	208	204	292	2,288

カ) 申請代行件数

代行サービス名	件数	代行サービス名	件数
生活支援型ヘルパー	1	緊急通報サービス	4
生きかみ対応型ダイサービス	1	配食サービス	4
生活支援型ショート	0	日常生活用具	1
住宅改修助成	1	介護保険	97
施設入所	0	諸制度・諸手当	2
医療に関するサービス	0	その他	3
保健に関するサービス	0	合計	114

キ) 相談外活動回数

活動内容	回数
会議	164
研修	33
視察研修等・実習指導	4
ケース検討会	14
広報啓発活動	18
その他	13
合計	246



カ) 介護予防サービス計画作成件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防サービス計画作成件数 (件)	128	130	132	135	139	139	141	142	136	136	138	139	1,635
内 訳	自機関	40	43	44	45	47	49	49	51	51	51	49	570
	委託	88	87	88	90	92	92	91	85	85	87	90	1,065

キ) 介護予防ケアマネジメント実施件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアマネジメント実施件数(件)	87	87	88	85	83	88	89	90	90	84	82	84	1,037
内 訳	自機関	37	36	35	36	37	39	40	41	43	42	44	472
	委託	50	51	53	49	46	49	49	49	47	42	40	565

2) みたけ・北厨川地域包括支援センター

みたけ・北厨川地域包括支援センターは、みたけ・北厨川地区を担当圏域に総合的な相談支援等をおこなった。前年度に比較して、実相談者数は31%減少、問い合わせ件数は23%減少し、介護予防サービス計画作成及びケアマネジメント実施件数は12.8%増加した。

(ア) 所在地 盛岡市月が丘三丁目7番5号

(イ) 電話番号 019-648-8834

(ウ) 職員配置 所長1名、管理者(保健師)1名、主任介護支援専門員1人、社会福祉士1名、介護予防支援員1名、第2層生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員1名

(エ) 担当圏域 みたけ・北厨川地区

(オ) 相談方法 電話、来所、希望により自宅を訪問し相談に対応

(カ) 営業日時 月曜日から土曜日 平日：午前9時から午後7時 土曜日：午前9時から正午

※休館日：日曜日、国民の祝日・休日、年末年始 営業時間外対応：電話により24時間常時連絡可能

(キ) 利用料 無料

(ク) 事業実績

センターの窓口のほか、担当圏域内に3箇所の出張相談所を開設し、より身近な窓口として介護、生活に関わる相談に対応した。

出張相談室	会場及び開催日	相談件数等
みたけサテライト相談室	みたけ老人福祉センター (みたけ3丁目13-23) 第4木曜日 9:30~11:30	12回開催 10件
谷地頭サテライト相談室	谷地頭集会所 (厨川5丁目14) 第4木曜日 14:00~16:00	12回開催 22件
厨川2丁目サテライト相談室	北厨川住宅集会室 (厨川2丁目21-28) 第3木曜日 14:00~16:00	12回開催 2件

ア) 実相談者数 274名 (うち訪問実数 128名)

イ) 相談方法別件数

電話	訪問	来所	文書	その他	合計
697	289	105	16	14	1,121

ウ) 相談者(経路)別件数

家族	本人	関係機関	民生委員	介護支援専門員	介護サービス事業所	行政関係	近隣知人等	合計
257	291	189	105	171	7	59	42	1,121

エ) 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	661	苦情に関すること	1
医療に関する相談	84	年金・保険に関する相談	18
介護保険に関する相談	545	財産(土地・住宅等)に関する相談	32
高齢者福祉サービスに関する相談	78	虐待・権利擁護に関する相談	143
健康づくりと保健事業に関する相談	1	成年後見制度に関する相談	54
施設入所に関する相談	84	消費者被害に関する相談	8
福祉用具に関する相談	28	困難事例に関する相談	333
住宅改修に関する相談	25	その他の相談	60
諸制度に関する相談	10		
状況把握(実態把握)	477	合 計	2,642

オ) 月別相談件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電 話	66	87	66	69	66	57	54	40	62	51	49	30	697
訪 問	37	34	31	31	17	25	25	17	16	11	19	26	289
来 所	10	11	8	5	9	8	17	10	9	1	6	11	105
文 書	1	1	1	0	0	1	4	4	2	0	0	2	16
その他	2	2	0	1	2	1	0	2	4	0	0	0	14
合 計	116	135	106	106	94	92	100	73	93	63	74	69	1,121

カ) 申請代行件数

代行サービス名	件数	代行サービス名	件数
生活支援型ヘルパー	1	緊急通報サービス	1
生きがい対応型デイサービス	0	配食サービス	4
生活支援型ショート	0	日常生活用具	0
住宅改修助成	0	介護保険	52
施設入所	0	諸制度・諸手当	8
医療に関するサービス	2	その他	0
保健に関するサービス	0	合 計	68

キ) 相談外活動回数

活 動 内 容	回 数
会議	202
研修	10
視察研修等・実習指導	0
ケース検討会	1
広報啓発活動	10
その他	14
合 計	237

ク) 介護予防サービス計画作成件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防サービス計画作成件数(件)	57	58	61	61	63	60	57	60	57	53	49	49	685
内 訳	自機関	22	23	26	27	28	26	25	27	25	24	24	302
	委 託	35	35	35	34	35	34	32	33	32	28	25	383

け) 介護予防ケアマネジメント実施件数

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアマネジメント 実施件数(件)		41	43	45	49	50	50	53	53	56	55	56	55	606
内 訳	自機関	27	28	31	31	30	30	33	32	34	34	34	32	376
	委 託	14	15	14	18	20	20	20	21	22	21	22	23	230

(5) 外出支援

1) おでかけ送迎サービス事業

3,110千円

一般の交通手段での外出が困難な方の通院、リハビリ、社会参加等のための移動手段として、送迎ボランティアの協力により、車いすやストレッチャーで乗降可能な車両を運行した。前年度に比較して、実利用者数はほぼ同数（令和元年度：83名）となり、延べ利用者数は、19.6%の減少（令和元年度：688件）となった。（障がい者対応部分は一部盛岡市委託事業）

なお、令和2年4月16日の新型コロナウイルス感染症による全国非常事態宣言等により、感染拡大防止の観点から4月27日から6月5日まで事業を休止した。

また、再開後は運行の都度車内を消毒液による除菌を行い、感染防止を徹底して事業を実施した。

- (ア) 実利用者数 84名（障がい者：52名、要介護者：32名）
- (イ) 利用延べ件数 553件
- (ウ) 送迎ボランティア実稼働数 15名（若園：11名 玉山：4名）
- (エ) 使用車両
  - ・リフト付き福祉車両2台、スロープ付き軽福祉車両1台（市総合福祉センター配備）
  - ・リフト付き福祉車両1台（玉山総合福祉センター配備）
- (オ) 利用料 無料
- (カ) 利用状況

区 分	性 別			年 齢 別						使用機器別			
	男性	女性	計	20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 80歳未満	80歳以上	社協車いす	本人車いす	ストレッチャー	その他
実利用者数（人）	43	41	84	3	5	15	9	22	30	25	57	1	1
延べ利用者数（人）	306	247	553	36	48	113	53	174	129	158	377	2	16

※その他：ベビーカー等

2) 「ぶらっとcab」<sup>きやぶ</sup>の貸出し（車いす同乗福祉自動車貸出事業）

269千円

自力で歩行が困難な高齢者や障がい者の方が通院、買物、冠婚葬祭、行楽等の外出をする際の支援を行うため、車いす同乗福祉自動車を無料で貸し出しをした。前年度比較で、実利用者は21.4%減少し、延べ利用者は20.3%の増加となった。

- (ア) 利用実人員 11名（男性3名・女性8名）
- (イ) 利用延べ件数 71件（男性6件・女性65件）
- (ウ) 平均運行距離 55km（1利用当たりの平均走行距離）
- (エ) 利用料 無料（但しガソリン、その他私的経費は自己負担）
- (オ) 実利用者

性 別			年 齢 別						障がい等別		
男性	女性	合計	20歳未満	20～40歳	40～60歳	60～70歳	70～80歳	80歳以上	要介護者	障がい者	外科患者等
3	8	11	0	1	0	2	1	7	10	1	0

(カ) 利用状況

性別			行先別						利用内容別					
男性	女性	合計	市内	矢中町	雫石町	滝沢市	その他 県内	県外	通院	退院	入所	一時帰宅	行楽	その他
6	65	71	41	25	3	2	0	0	64	0	0	0	1	6

※ 利用内容別「その他」：ドライブ、買物、墓参、知人・親戚宅の訪問、美容院等

(6) 心身障がい児者一時介護の支援

心身に障がいのある児童の保護者が傷病や社会的理由によって、家庭における介護が一時的に困難となった場合に、第三者に一時的に介護を依頼するために要する経費助成は実績が無かった。

6. 東日本大震災被災者支援

復興を支援する民間団体で組織された「もりおか復興支援ネットワーク」において団体相互の連携を図った。

7. 事業継続計画の見直し

災害など緊急時における中核事業の継続及び事業全体を復旧させるために、平常時や緊急時における対策などを定めた事業継続計画及び受援計画について見直しをおこなった。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業継続計画感染症編を追加した。

8. 福祉活動情報の発信

(1) 社会福祉大会の開催

592 千円

社会福祉功労者の表彰と市民の福祉活動への理解と参加を促進するため、盛岡市と共催で開催した。

新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、入場を受賞者とその家族のみとし、例年実施している記念講演及び福祉作文・福祉標語の朗読発表を行わず、会場を換気のしやすい盛岡市総合福祉センターに変更し、短時間での開催とした。

1) 名称 第59回盛岡市社会福祉大会

2) 日時 令和2年10月16日 午後1時30分～午後2時30分

3) 会場 盛岡市総合福祉センター 4階講堂(盛岡市若園町2-2)

4) 参加者 受賞者及び家族等、福祉関係者、ほか 約110人

5) 内容

(ア) 社会福祉関係物故者並びに東日本大震災で亡くなられた方々に対する黙祷

(イ) 表彰

盛岡市長感謝状(民生児童委員・主任児童委員11年以上)	4名
社会福祉協議会会長表彰(民生児童委員・主任児童委員15年以上)	12名
〃(社会福祉法人、社会福祉施設等の役職員)	54名
〃(社会奉仕、ボランティア活動に功績顕著な個人)	5名
〃(共同募金運動推進団体)	1団体
社会福祉協議会会長褒賞(永年にわたり在宅要援護者の介護に携わり他の模範となる者)	10名
中央共同募金会会長感謝状(共同募金運動推進団体・個人)	1団体
岩手県共同募金会会長感謝状(共同募金運動推進団体・個人)	3団体

(ウ) 福祉作文・標語最優秀者表彰

福祉作文 小学校部門(低学年・中学年・高学年)、中学校部門	各部門1名
福祉標語 小学校部門(低学年・中学年・高学年)、中学校部門	各部門1名

(エ) 大会宣言採択

## (2) 社会福祉協議会会報「福祉もりおか」の発行

5,580千円

社会福祉協議会活動の周知と地域福祉に関する情報提供を行うため会報を発行し、民生児童委員、町内会・自治会の協力により、市民全世帯に配布した。

- 1) 印刷サイズ タブロイド版 (273mm×382mm)
- 2) 発行部数 1回につき120,000部 (全戸配布)
- 3) 内容

号数	発行日	主な内容
200	5月15日	令和2年度事業計画概要・予算、民生委員PR、日常生活自立支援事業案内、シルバーメイト事業案内、いわておげんき見守りシステム事業案内、紙おむつ支給事業案内、おでかけ送迎サービス案内、ぷらっとcab貸出案内、令和元年度歳末たすけあい運動実績報告、生活福祉資金特例貸付案内
201	9月15日	共同募金運動、寄付つき商品紹介、令和元年度事業・資金決算報告、まるごとよりそいネットワーク紹介、地区福祉懇談会開催案内、ぷらっとcab貸出案内、生活福祉資金教育支援資金案内、みんなのマスクプロジェクト紹介、みんなの福祉を応援事業募集
202	12月15日	福祉大会表彰者報告、寄付つき商品紹介、歳末たすけあい運動PR、福祉作文・福祉標語最優秀作品紹介、社協特別賛助会員報告
203	3月15日	新型コロナ禍での盛岡社協活動を振り返る(特集記事)、地区福祉懇談会開催報告、みんなのマスクプロジェクト報告、ボランティア活動保険紹介、地区福祉推進会事業紹介、BBM紹介、寄付つき飲料自動販売機紹介

## (3) インターネットを利用した情報発信

886千円

社会福祉協議会の事業や活動、ボランティア活動に関する情報をインターネット上に公開して市民に参加を促すとともに、各種サービスの申請書等をホームページに掲載し、利用者の便宜を図った。

- 1) 公開アドレス (URL) <http://www.morioka-shakyo.or.jp/>
- 2) 来訪者数 延べ97,232カウント (令和2年3月31日現在 総計 363,093カウント)
- 3) 内容 (目次) 社協の紹介、在宅福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、各種相談、日常生活自立支援、ボランティア、介護保険、共同募金、管理運営施設、広報、各種申請書ダウンロード、地域福祉活動計画ダウンロード、地図リンク、募集情報

## 9. 総合福祉センターの管理運営

19,290千円

盛岡市総合福祉センターにおいて、駐車場内の外灯更新工事を実施し、市民の方々が夜間も安心して利用できるセンター運営に努めた。また、新型コロナウイルス感染症対策として、換気の励行、手指消毒薬の設置、貸出用マイクの消毒等を実施し、安全に利用できるよう対策を講じた。

前年度と比較して、盛岡市総合福祉センターでは、利用件数が21.4%減少し、利用者数においても35.3%の減少となった。

また、玉山総合福祉センターでは、利用件数が12.2%増加し、利用者数では19.2%の減少となった。盛岡市総合福祉センターにおいては、新型コロナウイルス感染症による利用件数・利用人数の減少が顕著となった。

## (1) 利用実績

## 1) 盛岡市総合福祉センター (盛岡市若園町2番2号)

【年間利用件数 1,998件 利用者数 36,784人】

階	種別	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
1F	レクリエーション室 兼催事場	件	23	11	20	24	21	26	33	27	16	15	21	18	255	21	
		人	547	213	400	450	307	294	154	1,084	428	337	402	310	4,926	411	
2F	ボランティアルーム	件	17	8	23	27	24	23	25	24	17	19	23	31	261	22	
		人	141	74	277	307	311	296	283	299	204	161	263	321	2,937	245	
3F	講習室兼会議室	件	25	12	30	24	28	32	33	25	21	16	32	22	300	25	
		人	332	156	350	262	451	358	362	302	294	175	351	212	3,605	300	
	小会議室	件	25	11	21	19	15	18	29	25	21	20	23	24	251	21	
		人	191	87	181	136	266	170	202	179	265	146	171	176	2,170	181	
	保育室	件	9	4	10	18	18	16	27	22	17	9	14	17	181	15	
		人	30	14	39	68	63	42	82	69	54	33	47	45	586	49	
	老人教養室	件	6	4	6	6	7	13	21	10	7	8	11	3	102	9	
		人	41	42	74	50	235	154	255	126	140	104	100	25	1,346	112	
	図書室	件	10	9	12	11	6	13	14	11	2	9	11	13	121	10	
		人	90	92	130	104	75	132	145	105	6	71	104	127	1,181	98	
	子供会研修室	件	17	11	23	19	28	35	44	29	24	15	28	18	291	24	
		人	490	173	557	496	660	787	931	573	511	386	533	354	6,451	538	
	4F	講堂	件	10	3	18	24	26	24	29	26	14	11	29	22	236	20
			人	561	86	851	1,439	1,645	1,348	1,826	2,135	890	925	830	1,046	13,582	1,132
合計		件	142	73	163	172	173	200	255	199	139	122	192	168	1,998	167	
		人	2,423	937	2,859	3,312	4,013	3,581	4,240	4,872	2,792	2,338	2,801	2,616	36,784	3,066	

## 2) 盛岡市玉山総合福祉センター (盛岡市洪民字泉田360)

【年間利用件数 698件 利用者数 13,486人】

階	種別	単	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
1F	センターホール	件	3	1	1	3	9	8	4	11	7	6	12	7	72	6
		人	149	2	2	147	500	216	264	393	77	77	163	70	2,060	172
	栄養指導室	件	0	1	0	1	5	6	4	6	3	2	5	3	36	3
		人	0	2	0	24	246	211	238	366	54	50	73	54	1,318	110
	集会室	件	8	8	9	12	16	19	9	21	14	13	18	16	163	14
		人	40	53	49	123	495	316	293	516	140	156	178	158	2,517	210
	ボランティアルーム	件	4	4	2	3	4	7	3	7	6	5	7	9	61	5
		人	10	12	4	28	8	116	34	53	52	56	64	57	494	41
	母子教養室	件	1	1	3	2	6	7	3	7	2	2	4	2	40	3
		人	5	2	5	29	411	213	234	395	44	50	61	43	1,492	124
	リハビリルーム	件	0	2	2	2	8	10	7	7	3	2	6	5	54	5
		人	0	4	3	29	256	223	244	368	61	50	82	70	1,390	116
	相談室	件	0	1	2	2	5	6	2	6	2	2	2	2	32	3
		人	0	2	3	29	246	211	230	366	44	50	45	43	1,269	106

階	種別	単	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
2F	研修室(1)・(2)	件	3	3	1	4	6	6	9	12	15	12	14	17	102	9	
		人	36	24	8	53	58	67	307	130	167	114	180	166	1,310	109	
	教養室(1)・(2)	件	0	9	8	7	9	14	15	12	13	11	11	14	123	10	
		人	0	26	24	87	109	145	349	133	136	106	117	137	1,369	114	
	健康相談室・茶室	件	2	0	1	1	0	1	2	2	1	2	1	0	13	1	
		人	5	0	8	1	0	3	201	19	4	3	8	0	252	21	
	遊戯室	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	図書室	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0
		人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	12	0	15	1
	作業室	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	件	21	30	29	37	68	84	58	91	67	57	81	75	698	58	
		人	245	127	106	550	2,329	1,721	2,394	2,739	782	712	983	798	13,486	1,124	

## (2) 団体別利用件数

### 1) 盛岡市総合福祉センター

区分		件数	割合
福祉団体	一般	592	29.6%
	障がい者	161	8.1%
	ボランティア	364	18.2%
	児童	154	7.7%
	高齢者	95	4.7%
	女性	304	15.2%
	小計	1,670	83.6%
行政	盛岡市(福祉)	130	6.5%
	盛岡市(一般)	142	7.1%
	岩手県(福祉)	0	0.0%
	岩手県(一般)	5	0.3%
	小計	277	13.9%
一般(有料)		51	2.6%
その他		0	0.0%
合計		1,998	100%

### 2) 盛岡市玉山総合福祉センター

区分		件数	割合
福祉団体	一般	290	41.5%
	障がい者	0	0.0%
	ボランティア	0	0.0%
	児童	50	7.2%
	高齢者	6	0.9%
	女性	2	0.3%
	小計	348	49.9%
行政	盛岡市(福祉)	312	44.7%
	盛岡市(一般)	16	2.3%
	岩手県(福祉)	1	0.1%
	岩手県(一般)	0	0.0%
	小計	329	47.1%
一般(有料)		21	3.0%
その他		0	0.0%
合計		698	100%

## 10. 職員の育成

### 1) 内部研修

実施年月日	研修名	内容	対象	人数
令和2年4月9日	新任等職員研修	・社会福祉協議会の仕組み ・社会福祉協議会の事業	採用後3年程度までの一般・嘱託職員等	9名

2) 主な外部研修

実施年月日	研修名及び研修場所	主催	人数
令和2年7月13日	市町村社協職員の災害対応初動チーム研修会 災害時を想定した初動対応研修 於 岩手県高校教育会館	岩手県社会福祉協議会	2名
7月30日	ボランティア活動研修会 於 ふれあいランド岩手	岩手県社会福祉協議会	1名
8月28日	県央地区社協連絡協議会職員研修会 於 葛巻町ふれあい宿舎グリーンテージ	県央地区社協連絡協議会	6名
9月28日	福祉サービスの苦情を考えるセミナー 於 ホテルニューカーナ	岩手県福祉サービス運営 適正化委員会	3名
10月15日	共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業 令和2年度第1回東北ブロック会議 於 石巻市支えあいセンター	雄勝なごみ会	1名
10月22日	岩手県生活支援コーディネーター現地研修 於 北上市黒岩わくわく夢工房	いきいき岩手支援財団	1名
11月5日	岩手県地域福祉推進フォーラム 於 プラザおでって	岩手県	1名
11月16日	県央地区社協ボランティア活動実践研究会 於 矢巾町保健福祉交流センター	県央地区社協連絡協議会	1名
11月18日	相談支援包括化推進員等への支援と人材育成事業ブロッ ク研修 於 八戸地域地場産業振興センター	厚生労働省	1名
令和3年3月16日	市町村社協中長期経営計画策定推進セミナー 於 岩手県立大学	岩手県社会福祉協議会	1名



## 11. 組織体制

### (1) 評議員 (定数: 21~27名)

氏名	所属等	就任期間	摘要
長澤 涼子	盛岡市町内会連合会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
山内 一男	玉山地域自治会連絡協議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
馬場 明雄	盛岡市民生児童委員連絡協議会	令和2年6月9日～令和3年3月31日	
鈴木 司朗	盛岡市老人クラブ連合会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
鎌田 まき子	盛岡市子ども会育成会連絡協議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
小枝指 好夫	盛岡市地区福祉推進会会長連絡会	令和2年4月1日～令和2年5月29日	退任
津志田 貞子	盛岡市身体障害者協議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
長 葎 常紀	盛岡市手をつなぐ育成会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
松本 笑子	盛岡市母子寡婦福祉協会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	退任
工藤 昭視	盛岡地区保護司会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
浅沼 道成	もりおか・NPO連絡協議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
遠藤 真喜男	盛岡市ボランティア連絡協議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
中川 政則	盛岡市社会福祉事業団	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
中村 伸之	盛岡市老人福祉施設連絡協議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	退任
高橋 学	盛岡市保育所協議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
佐藤 誠司	盛岡商工会議所	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
金子 博純	盛岡市医師会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
鈴木 洋之介	盛岡市歯科医師会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
石川 耕司	盛岡市小学校長会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	退任
齋藤 斉	盛岡市中学校長会	令和2年6月9日～令和3年3月31日	
中村 庄藏	盛岡市PTA連合会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
五十嵐のぶ代	盛岡市教育委員会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
伊藤 節子	盛岡市保健推進員協議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
佐久山久美子	盛岡市子ども未来部	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
千葉 信幸	盛岡市保健福祉部	令和2年6月9日～令和3年3月31日	
大畑 正二	盛岡市議会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
山中 俊介	岩手弁護士会	令和2年4月1日～令和3年3月31日	

## (2) 理事・監事 (定数: 理事9~13人 (内会長1名、副会長3名以内)、監事2~3名)

役職	氏名	所属等	就任期間	摘要
会長	川村 裕	学識経験者	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
副会長	米田 ハツエ	盛岡市民生児童委員連絡協議会会長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	竹田 孝男	学識経験者	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	平井 興太郎	盛岡市町内会連合会会長	令和2年4月1日~令和2年5月28日	退任
	小枝指 好夫	盛岡市町内会連合会会長	令和2年6月19日~令和3年3月31日	
理事	佐々木 由勝	玉山地域自治会連絡協議会会長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	菅原 隆浩	盛岡市老人福祉施設連絡協議会会長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	退任
	及川 陸男	盛岡市老人クラブ連合会会長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	千葉 健一	盛岡市地区福祉推進会長連絡会会長	令和2年4月1日~令和3年3月30日	退任
	三田地 宣子	学識経験者	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	村上 淳	盛岡市保健福祉部長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	山屋 理恵	インクルいわた理事長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
常務理事	加藤 彰	学識経験者	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
監事	高橋 良三	学識経験者	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	丹代 一志	税理士	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	松本 弘子	司法書士	令和2年4月1日~令和3年3月31日	

## (3) 評議員選任・解任委員 (外部委員3名、監事1名、事務局員1名)

区分	氏名	所属等	就任期間	摘要
外部委員	宮城 好郎	岩手県立大学社会福祉学部社会福祉学科長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
	小原 俊彦	盛岡観光コンベンション協会専務理事	令和2年4月1日~令和3年3月31日	退任
	西舘 政美	岩手日報社取締役総務局長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
監事	高橋 良三	盛岡市社会福祉協議会監事	令和2年4月1日~令和3年3月31日	
事務局員	千葉 英亨	盛岡市社会福祉協議会参事兼総務課長	令和2年4月1日~令和3年3月31日	

## (4) 職員 (総数212名)

所属・事業所等	職員数			
	正規職員	嘱託職員	臨時職員	非常勤職員
事務局	17	16	1	25
事務局長・参事・総務課	5	2		4
地域福祉課	4	2	1	
生活支援課	5	11		21
相談事業 (心配ごと)				(3)
(地域福祉権利擁護センター)		(6)		(18)
在宅福祉課	4	1		
玉山支所	4	3	1	3
盛岡駅西口介護サービス事業所	1	13		33
老人デイサービスセンター	1	3		14
ヘルパーステーション (指定居宅介護事業所)		5		19
指定居宅介護支援事業所		5		
盛岡駅西口地域包括支援センター	4	2		
月が丘介護サービス事業所	2	10		28
老人デイサービスセンター	1	3		13
ヘルパーステーション (指定居宅介護事業所)		3		15
指定居宅介護支援事業所	1	4		
みたけ・北厨川地域包括支援センター	3	4		
児童館	6	8		15
巻堀児童館	2	1		2
日戸児童館	2			2
好摩児童館	1	2		2
生出児童館		3		4
渋民児童館	1	2		5
学童クラブ		4		10
都南こどもの家		2		6
城内学童クラブ (休止)				
外山学童クラブ		2		4
合 計	38名	60名	2名	114名